

資料編

○地域福祉に関するアンケート調査結果（21 年度実施）	69
○地域福祉に関するアンケート調査結果 （17 年度実施分と 21 年度実施分との比較）	96
○第 2 期八戸市地域福祉計画策定の経過	109
○八戸市健康福祉審議会 社会福祉部会 委員名簿	109
○八戸市健康福祉審議会規則	110

地域福祉に関するアンケート調査

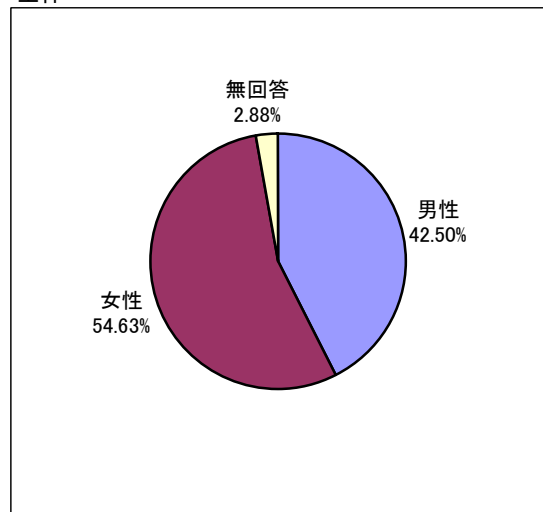
調査対象

平成21年10月15日現在八戸市に住民票を有している人2,000人
 年齢は10月15日現在18歳～75歳
 男女比率 1:1

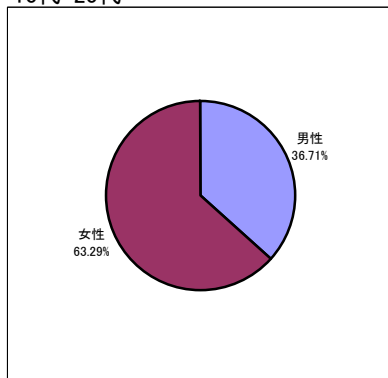
アンケート送付数	2,000
回答者数	800
回答率	40.00%

問1	性別	回答者数	回答率
		777	97.13%
		回答数	構成比
1	男性	340	42.50%
2	女性	437	54.63%
	無回答	23	2.88%
合計		800	100.00%

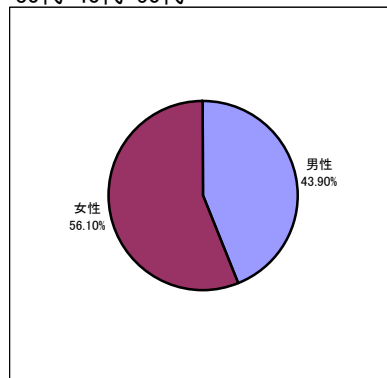
全体



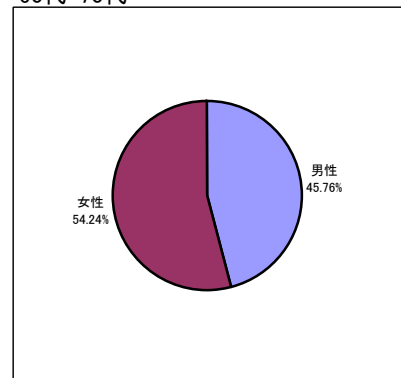
10代・20代



30代・40代・50代

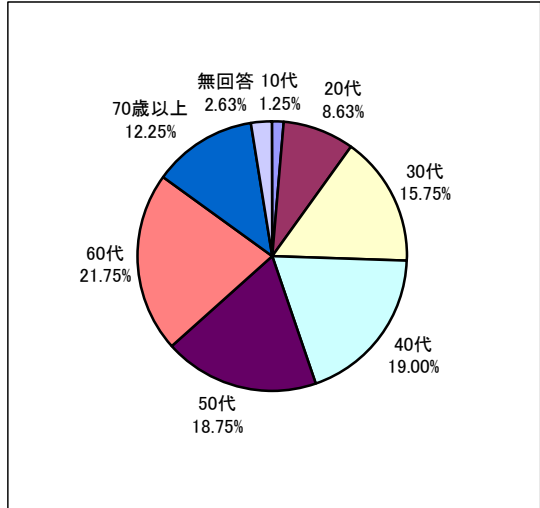


60代・70代



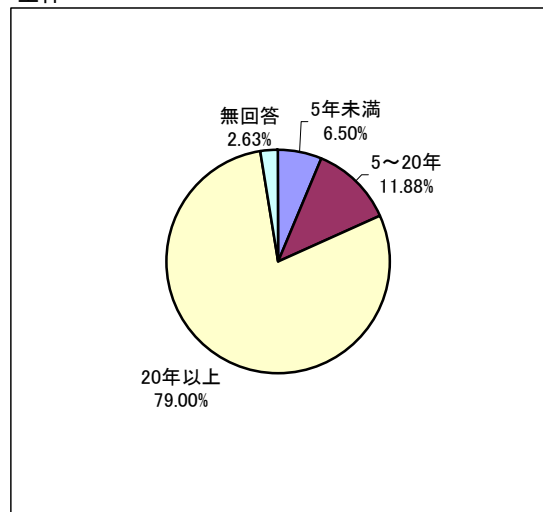
問2	年齢	回答者数	回答率
		779	97.38%
		回答数	構成比
1	10歳代	10	1.25%
2	20歳代	69	8.63%
3	30歳代	126	15.75%
4	40歳代	152	19.00%
5	50歳代	150	18.75%
6	60歳代	174	21.75%
7	70歳以上	98	12.25%
	無回答	21	2.63%
合計		800	100.00%

全体

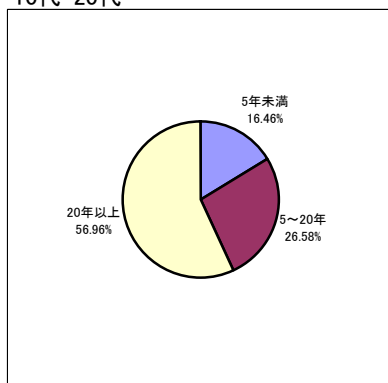


問3	八戸市内における在住年数	回答者数	回答率
		779	97.38%
		回答数	構成比
1	5年未満	52	6.50%
2	5～20年未満	95	11.88%
3	20年以上	632	79.00%
	無回答	21	2.63%
合 計		800	100.00%

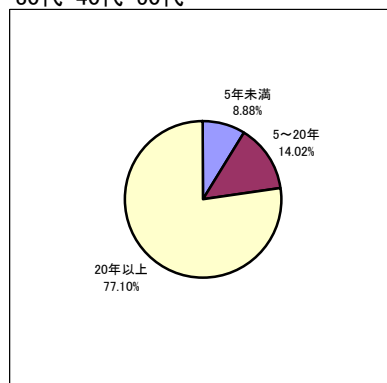
全体



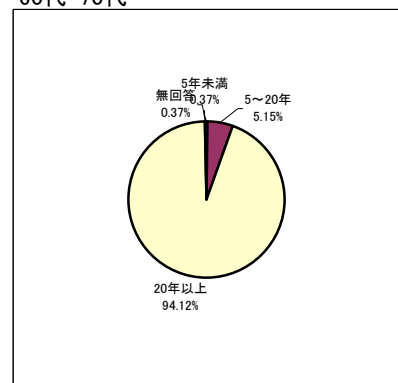
10代・20代



30代・40代・50代

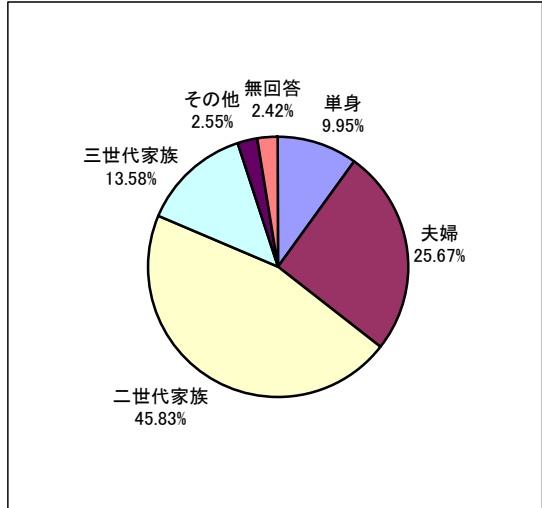


60代・70代

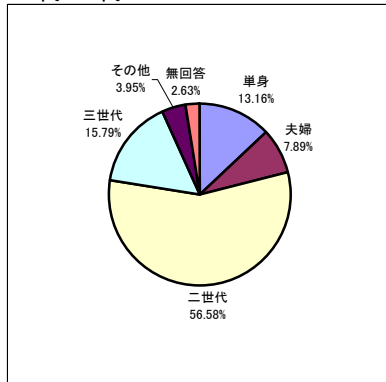


問4	ご家族の構成	回答者数	回答率
		775	96.88%
		回答数	構成比
1	単身	74	9.95%
2	夫婦のみ	191	25.67%
3	親・子の二世世代家族	341	45.83%
4	親・子・孫の三世世代家族	101	13.58%
5	その他	19	2.55%
	無回答	18	2.42%
合 計		744	100.00%

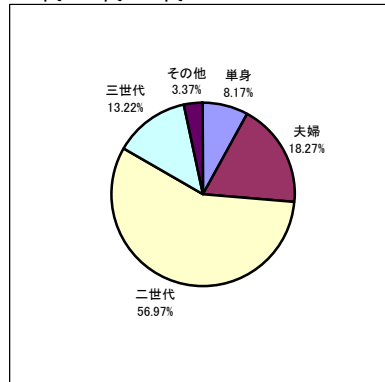
全体



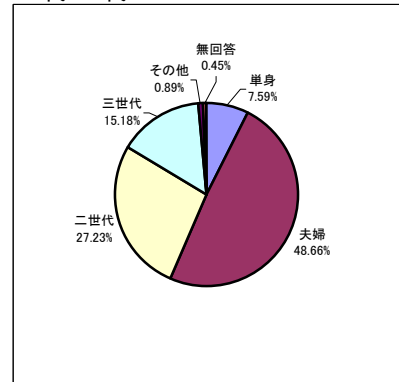
10代・20代



30代・40代・50代

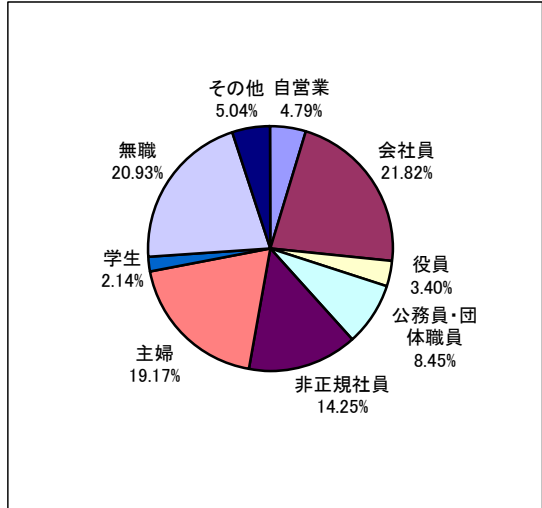


60代・70代

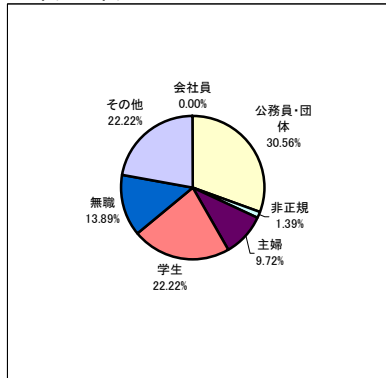


問5	ご職業は何ですか	回答者数	回答率
		793	99.13%
		回答数	構成比
1	農林漁業・商工業等の自営業	38	4.75%
2	会社員	173	21.63%
3	会社や団体等の法人役員	27	3.38%
4	公務員・団体職員	67	8.38%
5	臨時職員・パート・アルバイト等の非正規社員	113	14.13%
6	専業主婦	152	19.00%
7	学生	17	2.13%
8	無職	166	20.75%
9	その他	40	5.00%
	無回答	7	0.88%
合 計		800	100.00%

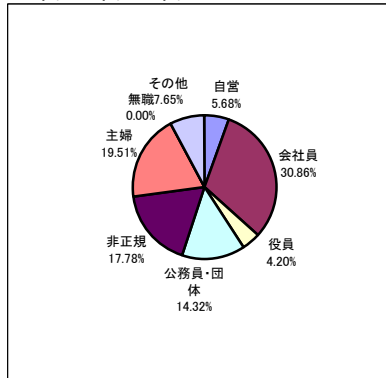
全体



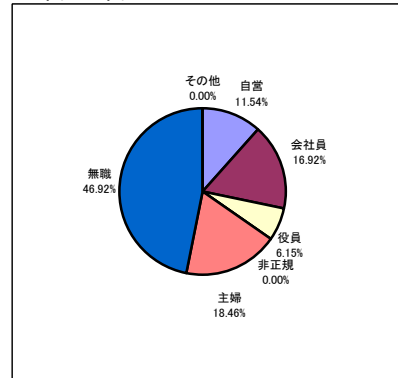
10代・20代



30代・40代・50代

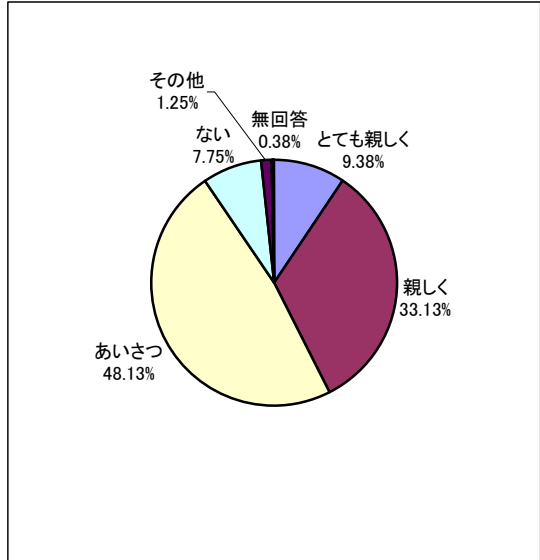


60代・70代

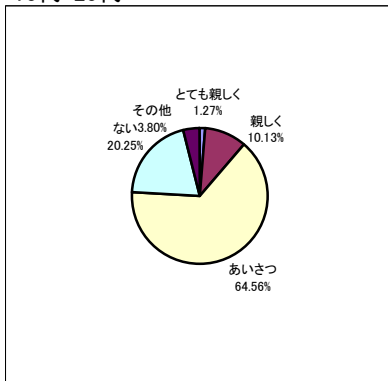


問6	あなたは、ご近所との付き合いをどの程度していますか。 次の中から1つ選んでください。	回答者数	回答率
		797	99.63%
		回答数	構成比
1	とても親しく付き合っており、何か困ったときに、相談したり助け合っている	75	9.38%
2	親しく付きあっており、一緒にお茶を飲んだり、留守をするとき声をかけあったりする	265	33.13%
3	あいさつや立ち話をする程度	385	48.13%
4	ほとんど付き合いはない	62	7.75%
5	その他	10	1.25%
	無回答	3	0.38%
合 計		800	100.00%

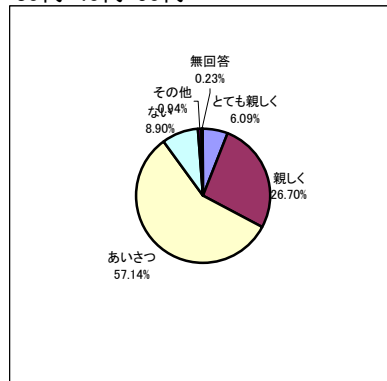
全体



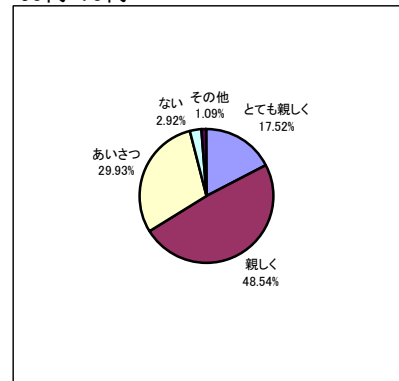
10代・20代



30代・40代・50代

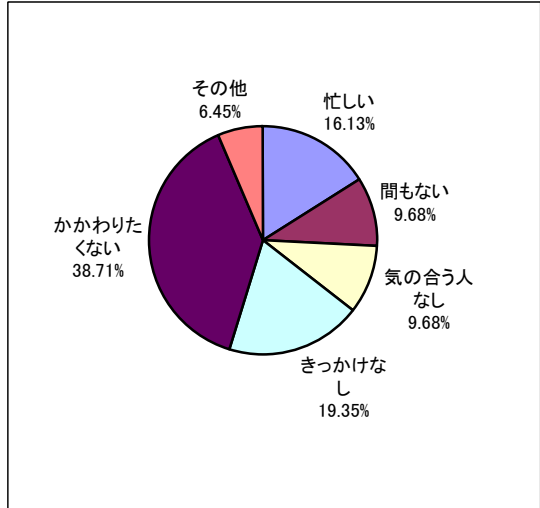


60代・70代

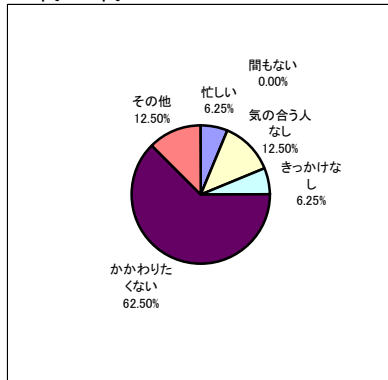


問7	問6で、「4 ほとんど付き合いはない」と回答された方にうかがいます。近所付き合いがない理由は、次のどれですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。	回答者数	回答率
		62	100.00%
		回答数	構成比
1	仕事や家事や育児などで忙しいから	10	16.13%
2	現在の地域に住み始めて間もないから	6	9.68%
3	気の合う人、話の合う人が近くにいないから	6	9.68%
4	近所付き合いをしたいが、きっかけがないから	12	19.35%
5	あまりかかわりを持ちたくないから	24	38.71%
6	その他	4	6.45%
合計		62	100.00%

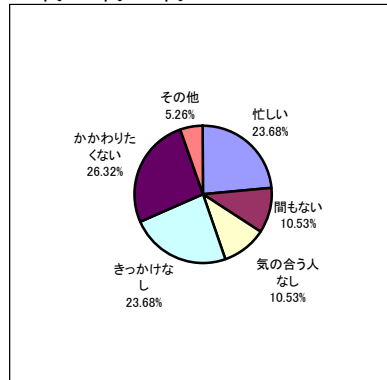
全体



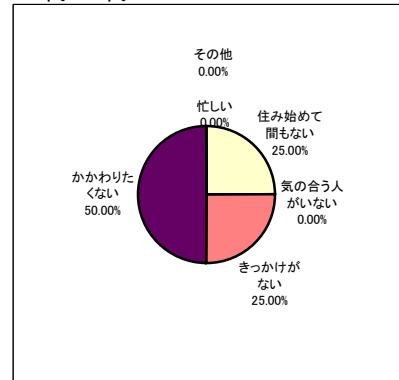
10代・20代



30代・40代・50代

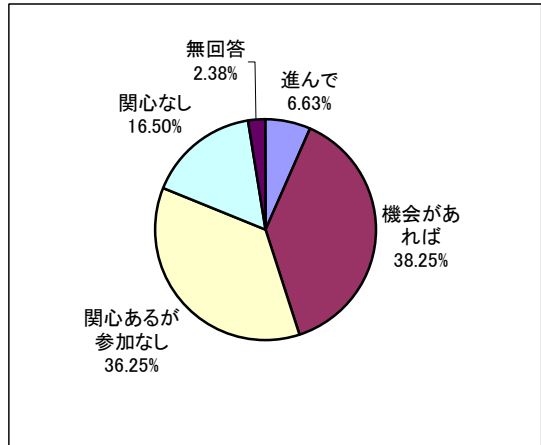


60代・70代

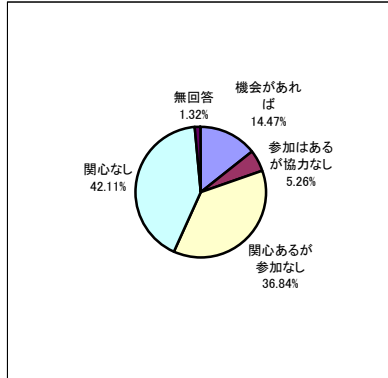


問8	あなたは地域の行事や活動にどのように参加していますか。 1つ選んでください。	回答者数	回答率
		781	97.63%
		回答数	構成比
1	進んで参加・協力している	53	6.63%
2	機会があれば、参加・協力している	306	38.25%
3	関心はあるが、参加していない	290	36.25%
4	関心がないので、参加していない	132	16.50%
	無回答	19	2.38%
合計		800	100.00%

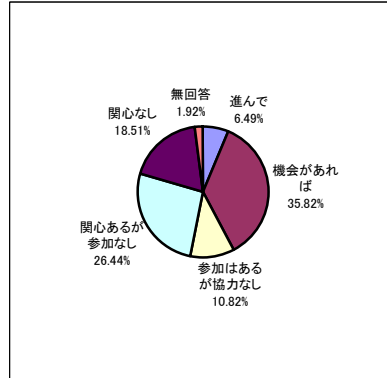
全体



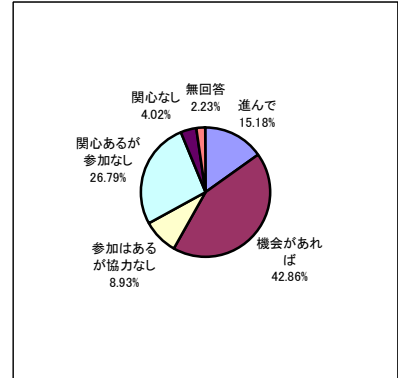
10代・20代



30代・40代・50代

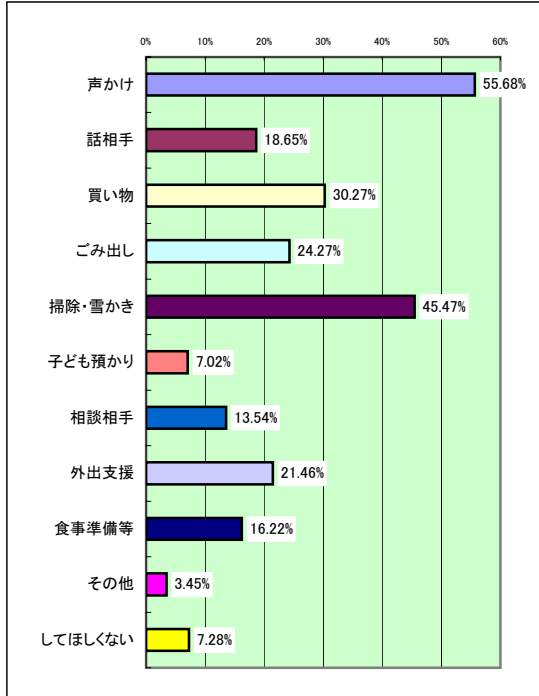


60代・70代

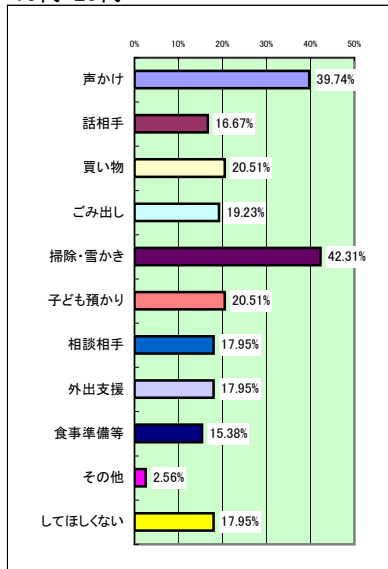


問9	あなたは、日常生活が不自由になったとき(高齢・病気・ケガなど)、地域でどのような援助をしてほしいと思いますか。 3つまで選んでください。	回答者数	回答率
		783	97.88%
		回答数	対回答者数割合
1	安否確認の声かけ	436	55.68%
2	趣味など世間話の話し相手	146	18.65%
3	買い物の手伝い	237	30.27%
4	ごみ出し	190	24.27%
5	玄関前の掃除・雪かきなど	356	45.47%
6	短時間の子どもの預かり	55	7.02%
7	子育て・介護などの相談相手	106	13.54%
8	外出の支援	168	21.46%
9	食事の準備・片づけ	127	16.22%
10	その他	27	3.45%
11	特に援助してほしくない	57	7.28%
合 計		1,905	

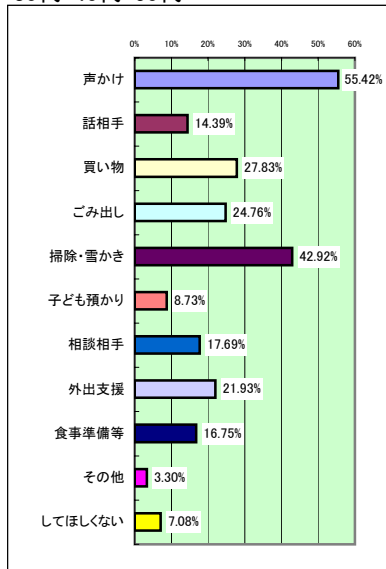
全体



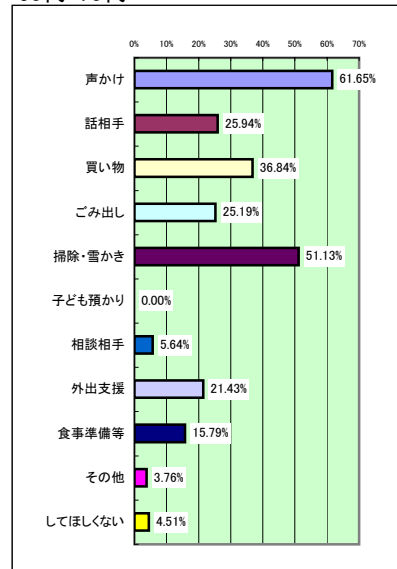
10代・20代



30代・40代・50代

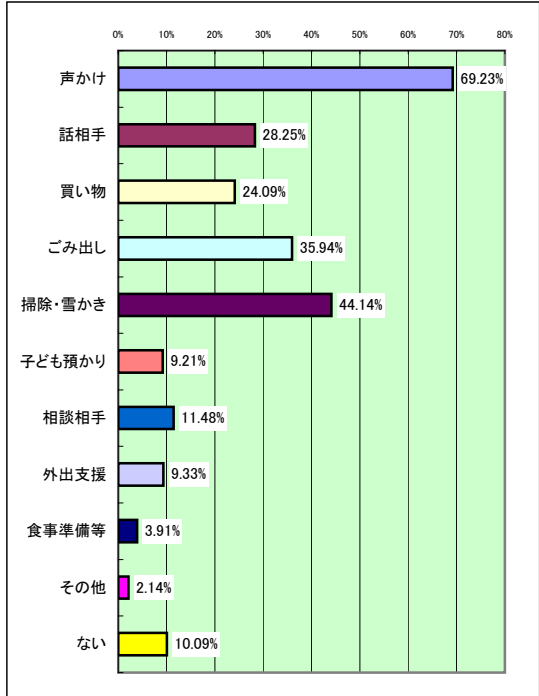


60代・70代

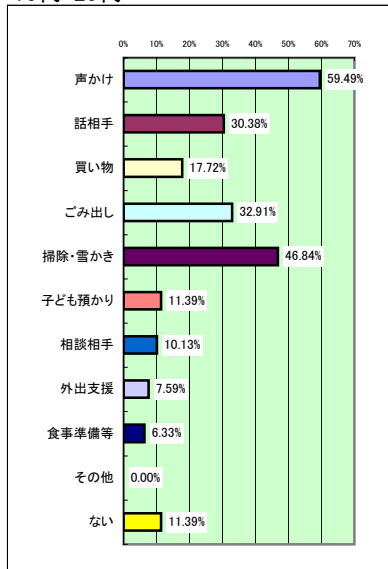


問10	あなたが地域で、高齢者や障害者、子育てなどで困っている世帯があったら、できることはなんですか。 3つまで選んでください。	回答者数	回答率
		793	99.13%
		回答数	対回答者数割合
1	安否確認の声かけ	549	69.23%
2	趣味など世間話の話し相手	224	28.25%
3	買い物の手伝い	191	24.09%
4	ごみ出し	285	35.94%
5	玄関前の掃除・雪かきなど	350	44.14%
6	短時間の子どもの預かり	73	9.21%
7	子育て・介護などの相談相手	91	11.48%
8	外出の支援	74	9.33%
9	食事の準備・片づけ	31	3.91%
10	その他	17	2.14%
11	特にできることはない	80	10.09%
合 計		1,965	

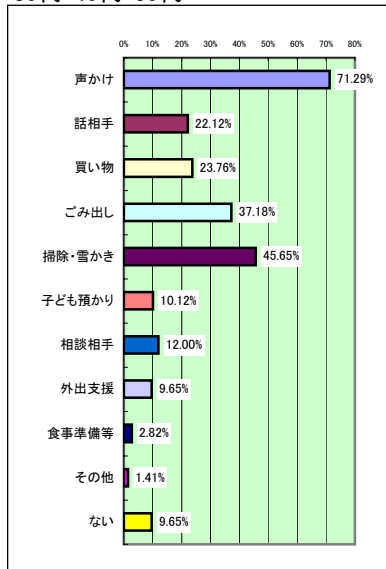
全体



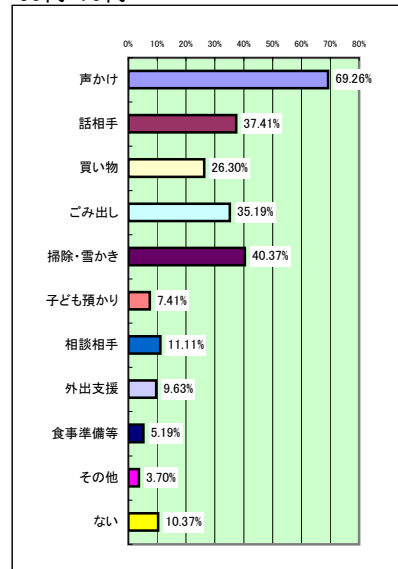
10代・20代



30代・40代・50代

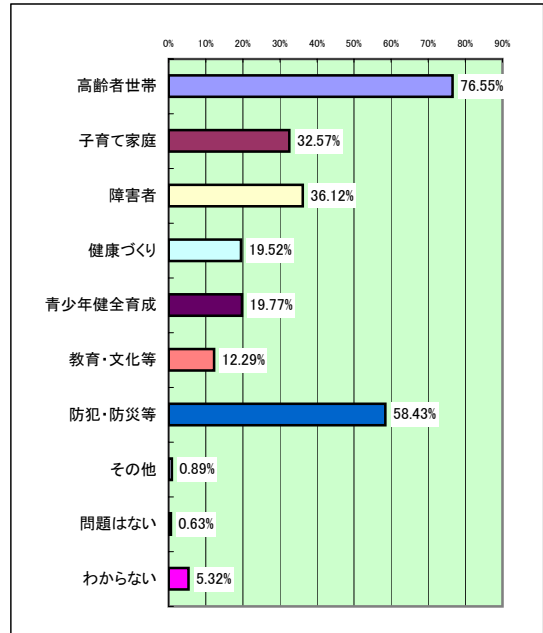


60代・70代

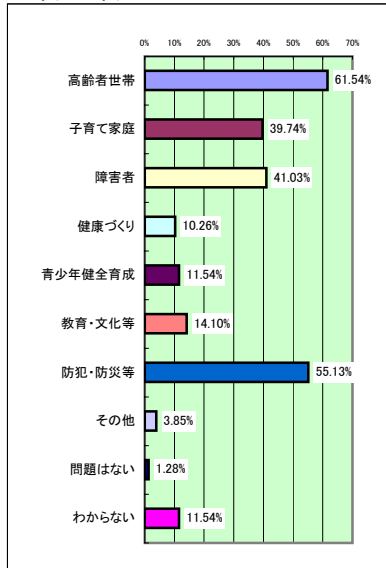


問11	次のうち、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要だと思うことはなんですか。3つまで選んでください。	回答者数	回答率
		789	98.63%
		回答数	対回答者数割合
1	一人暮らし高齢者や高齢者世帯への支援	604	76.55%
2	子育てで悩んでいる家庭への支援	257	32.57%
3	障害者への支援	285	36.12%
4	健康づくりへの支援	154	19.52%
5	青少年の健全育成への支援	156	19.77%
6	教育・文化・スポーツの振興への支援	97	12.29%
7	防犯・防災・交通安全への支援	461	58.43%
8	その他	7	0.89%
9	取り組むべき問題はない	5	0.63%
10	わからない	42	5.32%
合 計		2,068	

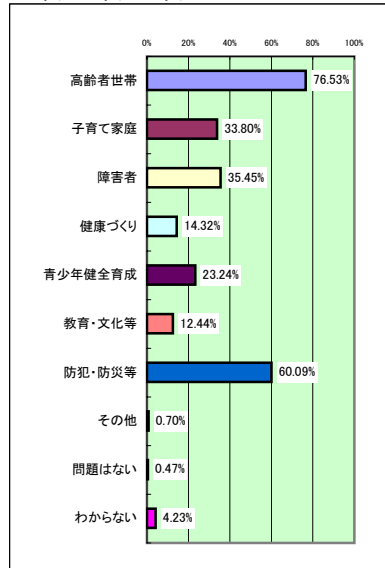
全体



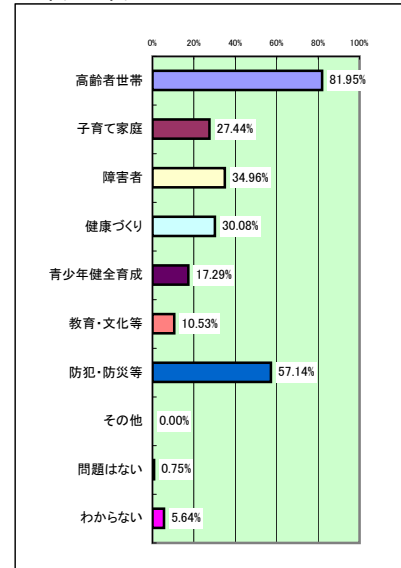
10代・20代



30代・40代・50代

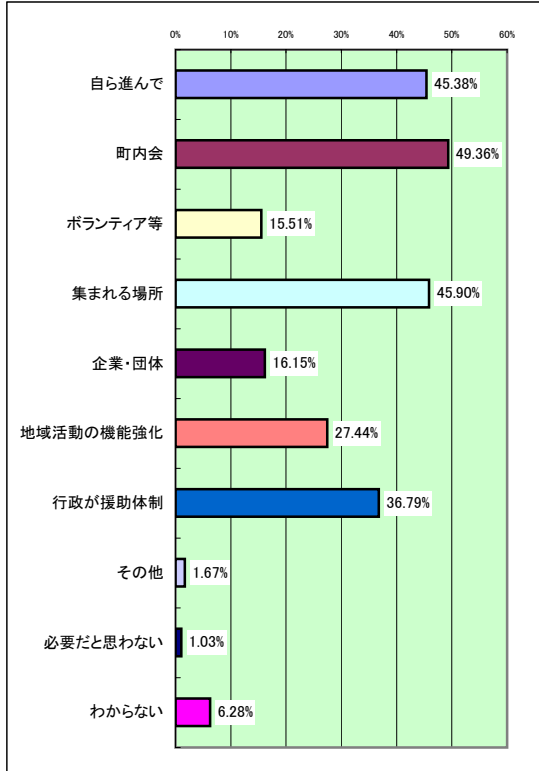


60代・70代

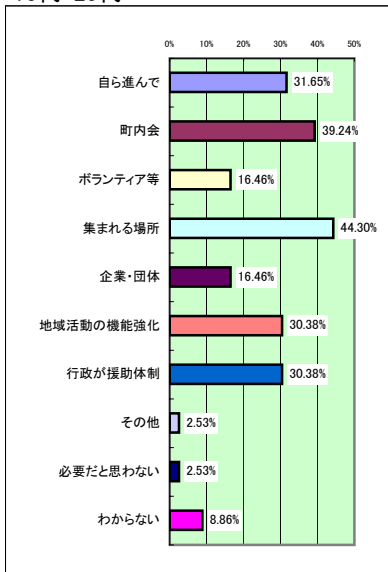


問12	地域社会の問題に対して、住民がお互いに協力していくためには、どんなことが必要だと考えますか。 3つまで選んでください。	回答者数	回答率
		780	97.50%
		回答数	対回答者数割合
1	自ら進んで日頃から住民相互のつながりを持つように心がけること	354	45.38%
2	町内会などが中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること	385	49.36%
3	ボランティアやNPOの活動を盛んにすること	121	15.51%
4	地域の人が気楽に集まれる場所をつくること	358	45.90%
5	地域の企業・団体が日頃から地域社会の活動に参加できるようにすること	126	16.15%
6	公民館などの地域活動の機能を強化すること	214	27.44%
7	行政が地域活動に対する相談窓口を設置するなど、援助の体制を充実させること	287	36.79%
8	その他	13	1.67%
9	必要だと思わない	8	1.03%
10	わからない	49	6.28%
合計		1,915	

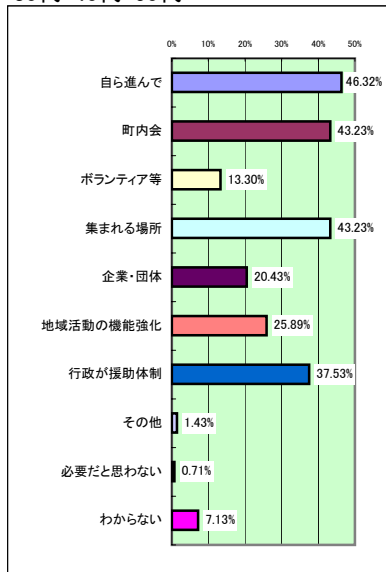
全体



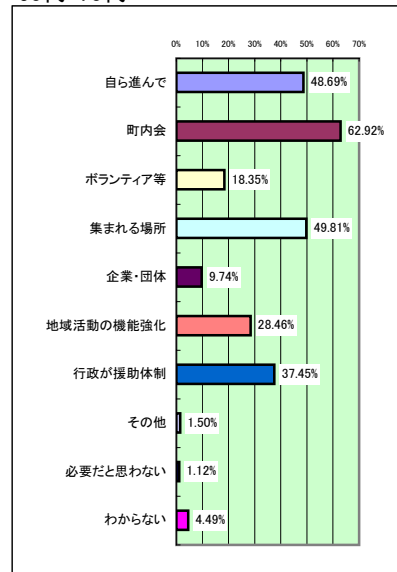
10代・20代



30代・40代・50代

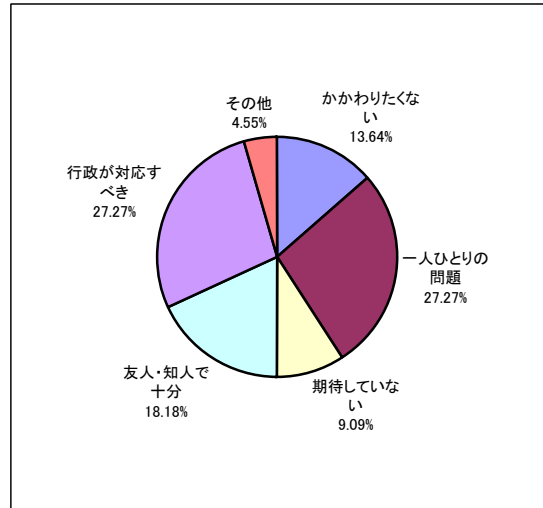


60代・70代

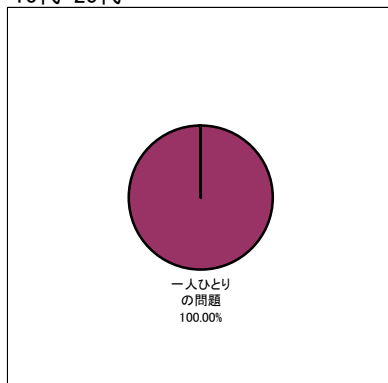


問13	問12で、「10 必要だと思わない」と回答された方にうかがいます。必要ないと思う理由はなんですか。 あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。	回答者数	回答率
			8
		回答数	構成比
1	他人とのかかわりを持ちたくないから	0	0.00%
2	個々の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから	3	37.50%
3	住民相互の協力関係の活動に期待していないから	1	12.50%
4	友人・知人との結びつきがあれば十分であるから	0	0.00%
5	地域社会の問題は、行政が全面的に対応すべきであるから	4	50.00%
6	その他	0	0.00%
合 計		8	100.00%

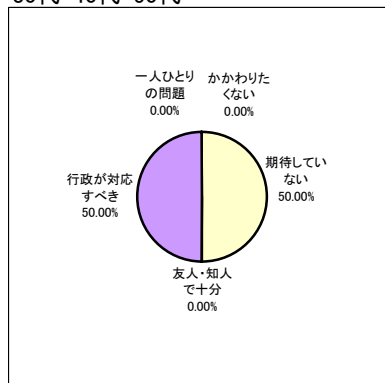
全体



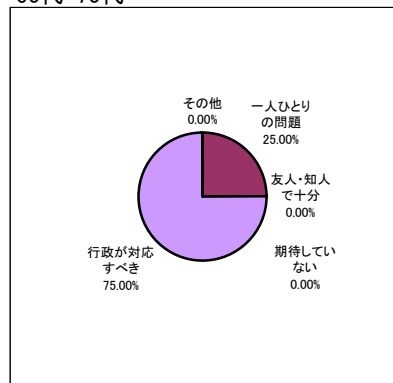
10代・20代



30代・40代・50代

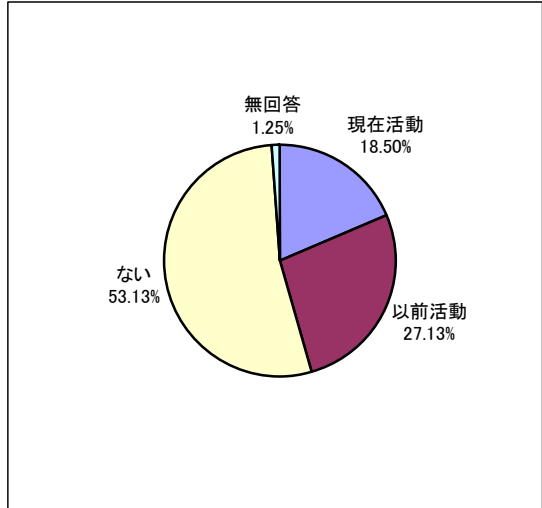


60代・70代

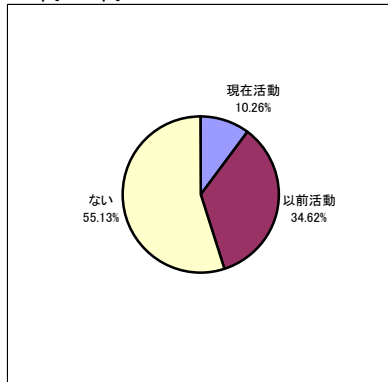


問14	あなたは、これまでに地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。	回答者数	回答率
		790	98.75%
		回答数	構成比
1	現在、活動している	148	18.50%
2	以前活動していたことがあるが、現在はしていない	217	27.13%
3	活動したことがない	425	53.13%
	無回答	10	1.25%
合 計		800	100.00%

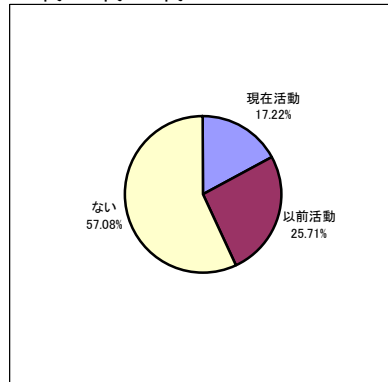
全体



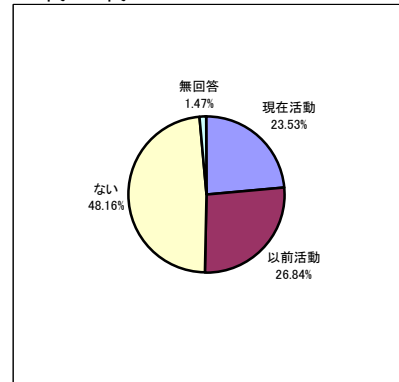
10代・20代



30代・40代・50代

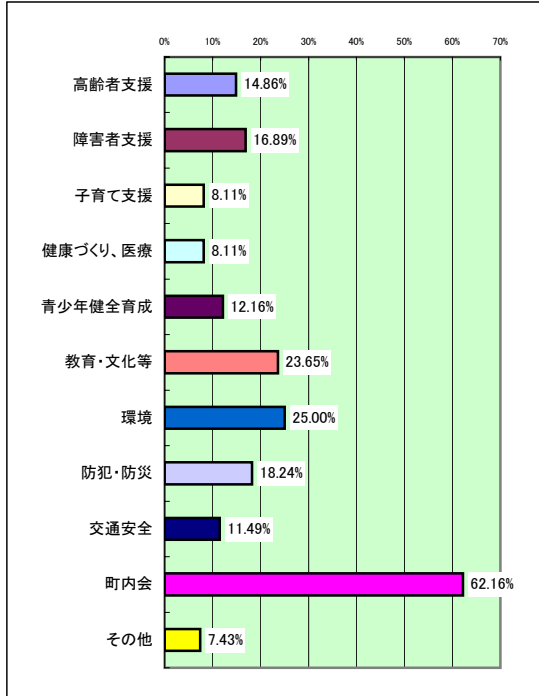


60代・70代

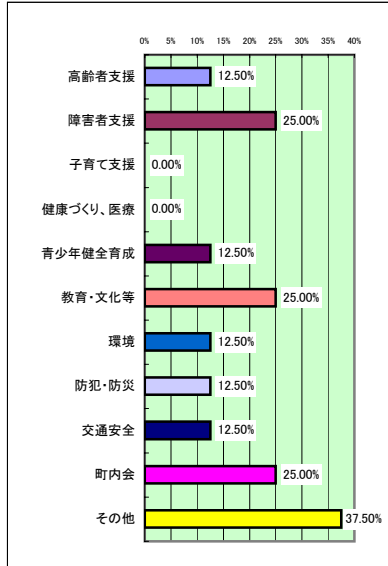


問15	問14で、「1 現在、活動している」と回答された方にうかがいます。どのような活動をしていますか。 あてはまるものすべてを選んでください。	回答者数	回答率
		148	100.00%
		回答数	対回答者数割合
1	高齢者支援に関する活動	22	14.86%
2	障害者支援に関する活動	25	16.89%
3	子育て支援に関する活動	12	8.11%
4	健康づくり、医療に関する活動	12	8.11%
5	青少年の健全育成に関する活動	18	12.16%
6	教育・文化・スポーツの振興に関する活動	35	23.65%
7	環境に関する活動	37	25.00%
8	防犯・防災に関する活動	27	18.24%
9	交通安全に関する活動	17	11.49%
10	町内会に関する活動	92	62.16%
11	その他	11	7.43%
合 計		308	

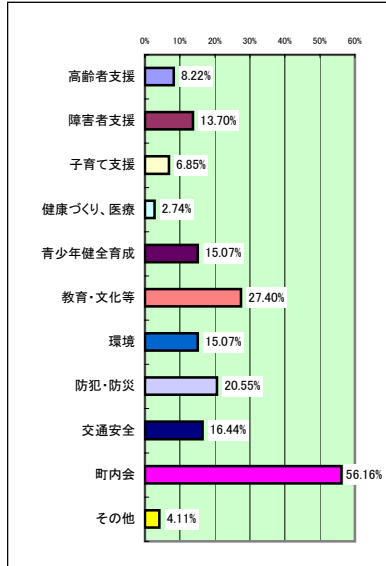
全体



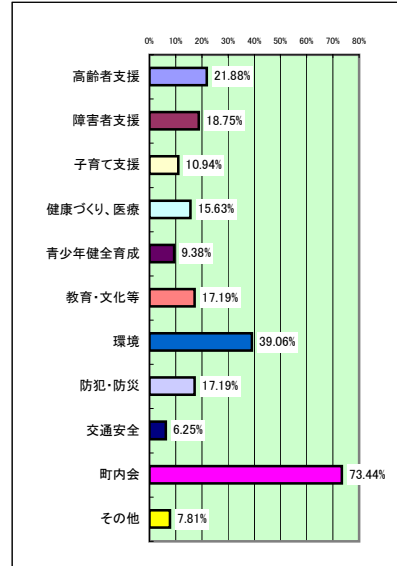
10代・20代



30代・40代・50代

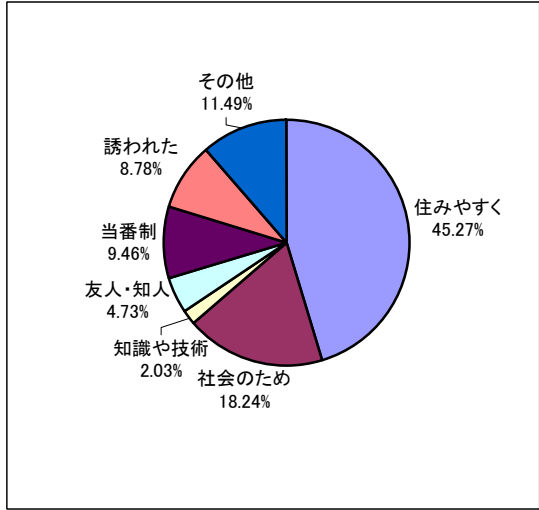


60代・70代

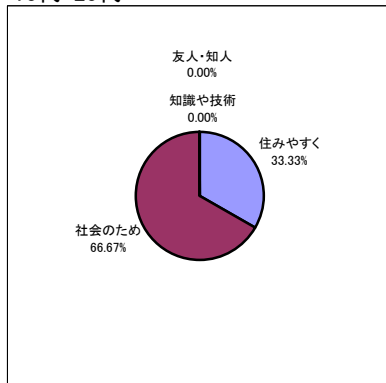


問16	問14で、「1 現在、活動している」と回答された方にうかがいます。活動のきっかけはどのような理由ですか。1つ選んでください。	回答者数	回答率
		148	100.00%
		回答数	対回答者数割合
1	地域をより住みやすいものにしたから	67	45.27%
2	社会や他人のためになる活動がしたいから	27	18.24%
3	知識や技術を身につけたいから	3	2.03%
4	新たに友人・知人を得たいから	7	4.73%
5	持ち回りの当番制となっていたから	14	9.46%
6	友人に誘われたから	13	8.78%
7	その他	17	11.49%
合 計		148	100.00%

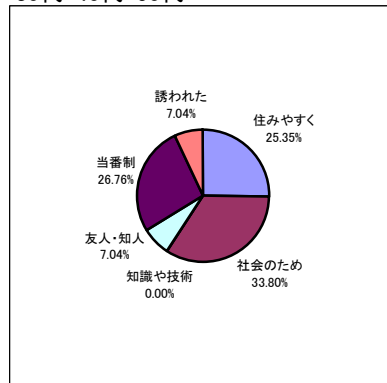
全体



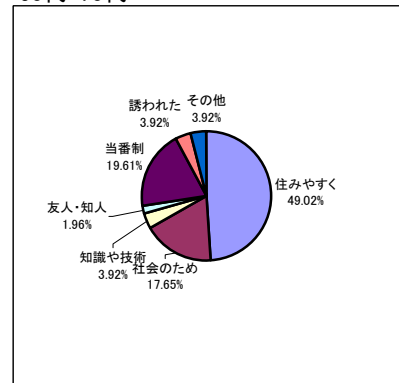
10代・20代



30代・40代・50代

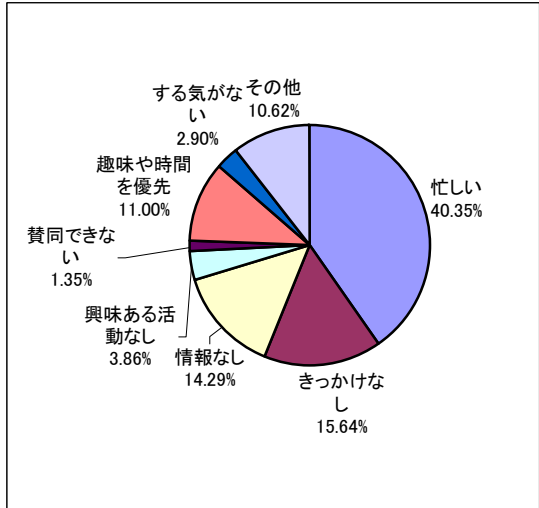


60代・70代

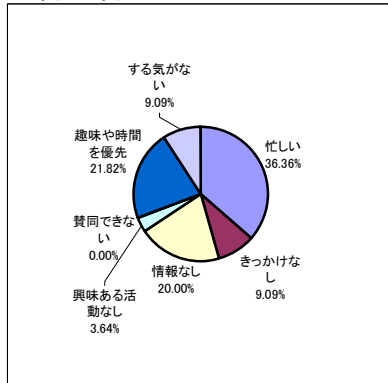


問17	問14で、「2 以前活動していたことがあるが、現在はしていない」または「3 活動したことがない」と回答された方にうかがいます。あなたが地域活動・ボランティアをしない理由は何ですか。1つ選んでください。	回答者数	回答率
		518	100.00%
		回答数	構成比
1	仕事や家事や育児などで忙しいから	209	40.35%
2	活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない	81	15.64%
3	どのような活動があるのかという情報がない	74	14.29%
4	興味の持てる活動が見つからない	20	3.86%
5	現在の活動内容に賛同できないから	7	1.35%
6	自分の趣味や自由な時間を優先したいから	57	11.00%
7	活動する気持ちはない	15	2.90%
8	その他	55	10.62%
合 計		518	100.00%

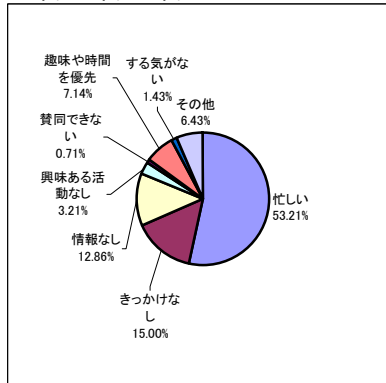
全体



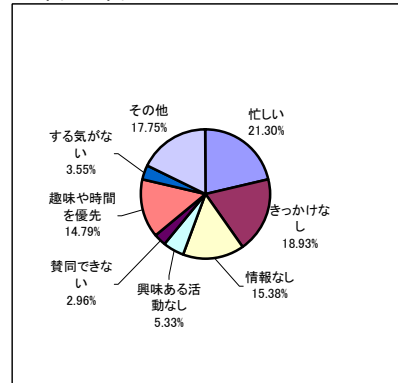
10代・20代



30代・40代・50代

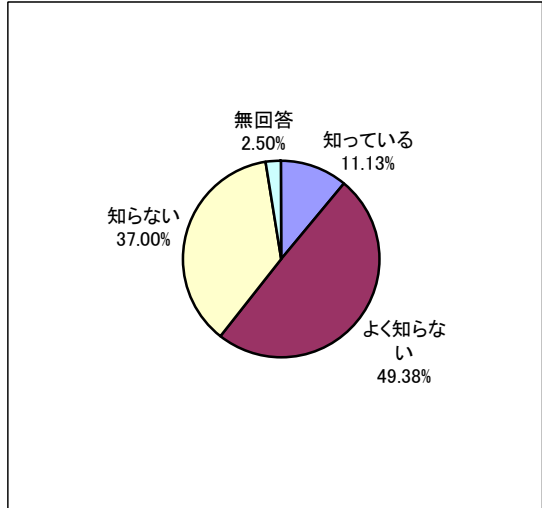


60代・70代

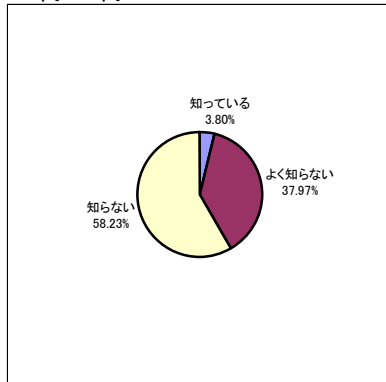


問18	あなたは、「八戸市地域福祉計画」を知っていますか。	回答者数	回答率
		781	97.63%
		回答数	構成比
1	知っている	50	6.25%
2	聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない	203	25.38%
3	知らない	528	66.00%
	無回答	19	2.38%
合計		800	100.00%

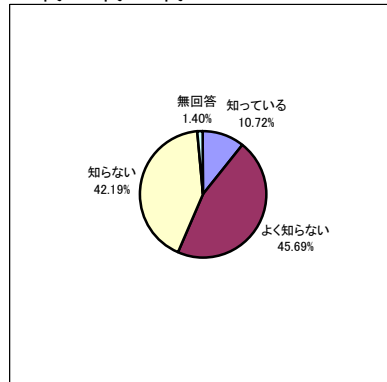
全体



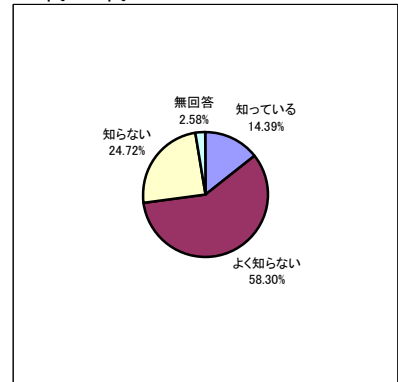
10代・20代



30代・40代・50代

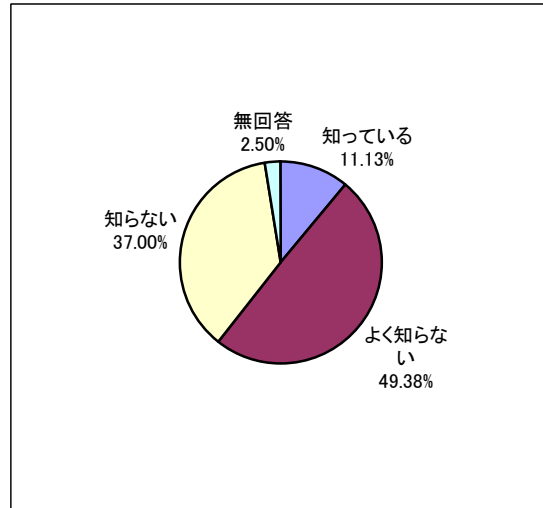


60代・70代

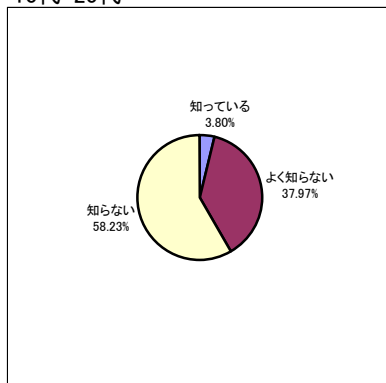


問19	あなたは、地域福祉の推進を目的として活動している「八戸市社会福祉協議会」を知っていますか。	回答者数	回答率
		780	97.50%
		回答数	構成比
1	名前も活動内容も知っている	89	11.13%
2	名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない	395	49.38%
3	名前も活動内容も知らない	296	37.00%
	無回答	20	2.50%
合計		800	100.00%

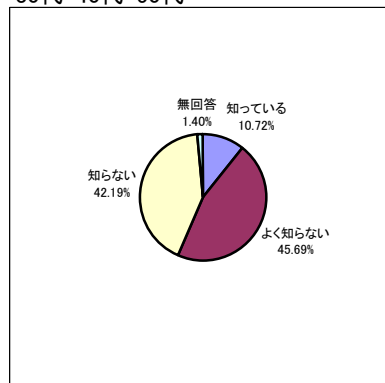
全体



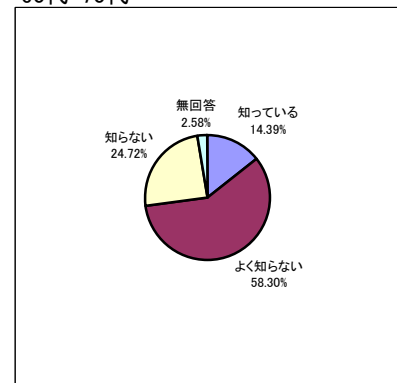
10代・20代



30代・40代・50代

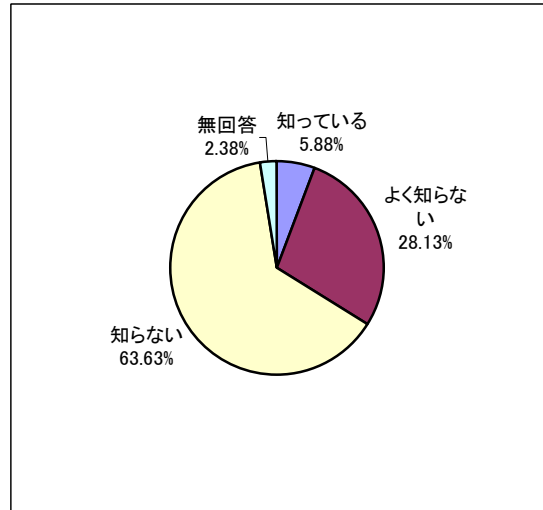


60代・70代

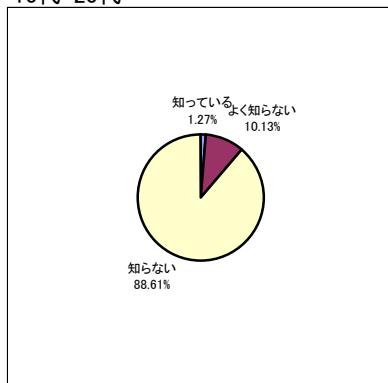


問20	あなたは、市民のボランティア活動の振興を目的として活動している「八戸市市民活動サポートセンター」を知っていますか。	回答者数	回答率
		781	97.63%
		回答数	構成比
1	名前も活動内容も知っている	47	5.88%
2	名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない	225	28.13%
3	名前も活動内容も知らない	509	63.63%
	無回答	19	2.38%
合 計		800	100.00%

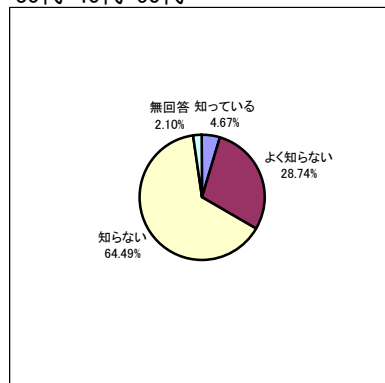
全体



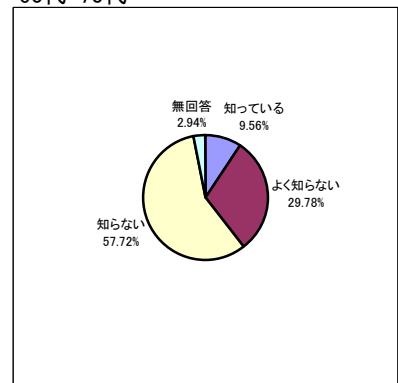
10代・20代



30代・40代・50代

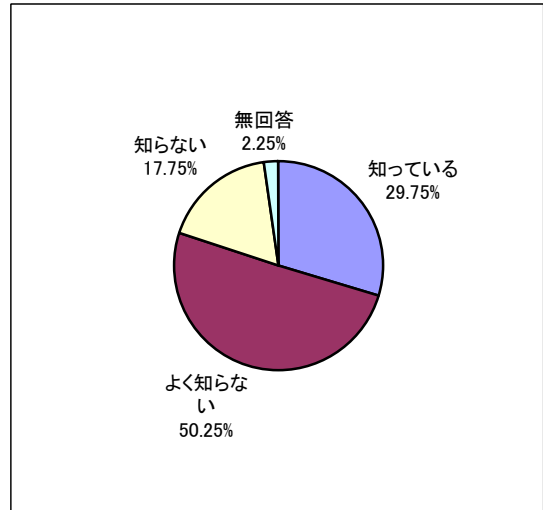


60代・70代

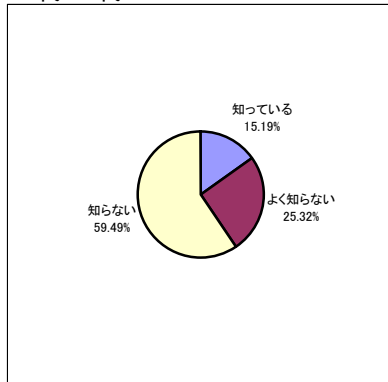


問21	あなたは、社会奉仕の精神をもって住民の立場に立って相談や援助活動をしている「民生委員・児童委員」を知っていますか。	回答者数	回答率
		782	97.75%
		回答数	構成比
1	名前も活動内容も知っている	238	29.75%
2	名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない	402	50.25%
3	名前も活動内容も知らない	142	17.75%
	無回答	18	2.25%
合 計		800	100.00%

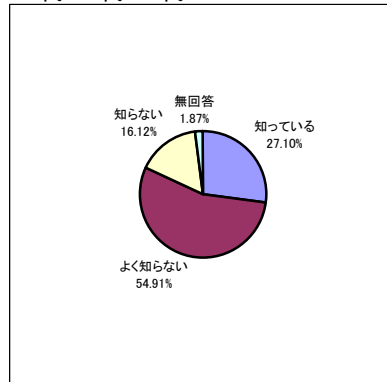
全体



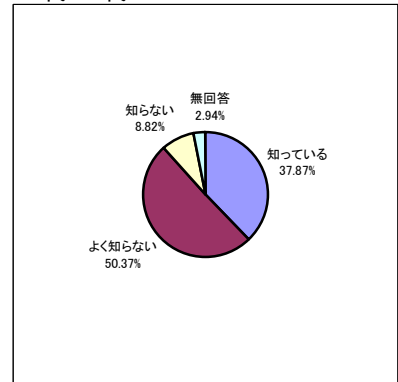
10代・20代



30代・40代・50代

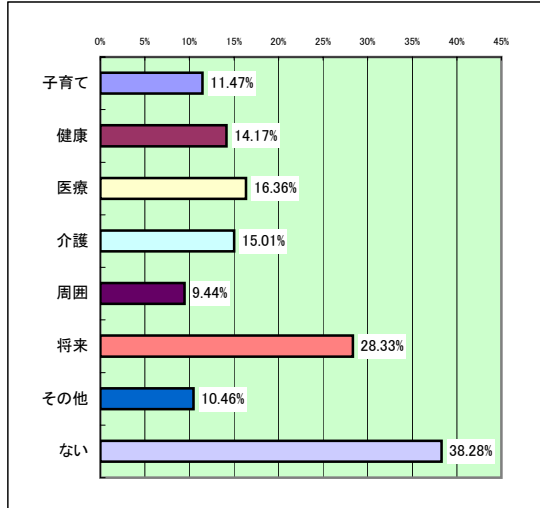


60代・70代

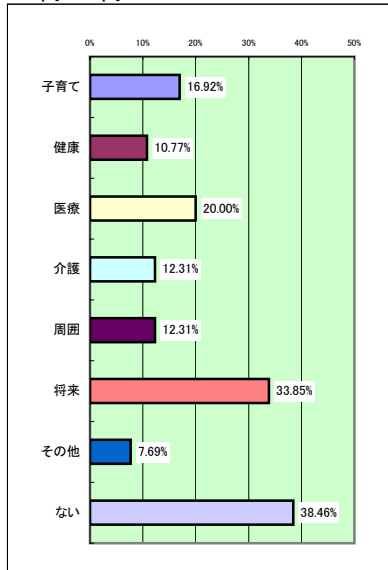


問22	あなたは、ふだん暮らしているなかで、以下に関することで困っていることがありますか。困っていることがありましたら何でもお書きください。	回答者数	回答率
		593	74.13%
		回答数	対回答者数割合
1	子育てに関すること	68	11.47%
2	健康に関すること	84	14.17%
3	医療に関すること	97	16.36%
4	介護に関すること	89	15.01%
5	周囲とのかかわりに関すること	56	9.44%
6	将来の生活に関すること	168	28.33%
7	その他	62	10.46%
8	困っていることはない	227	38.28%
合 計		851	

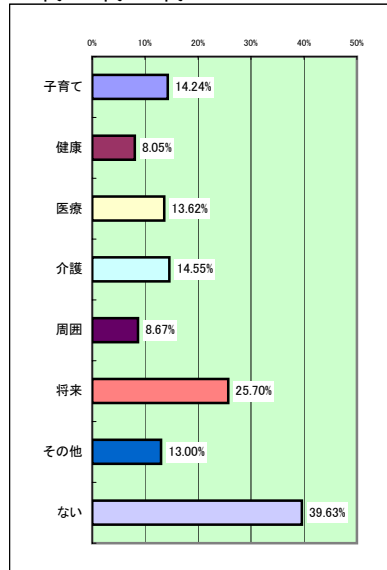
全体



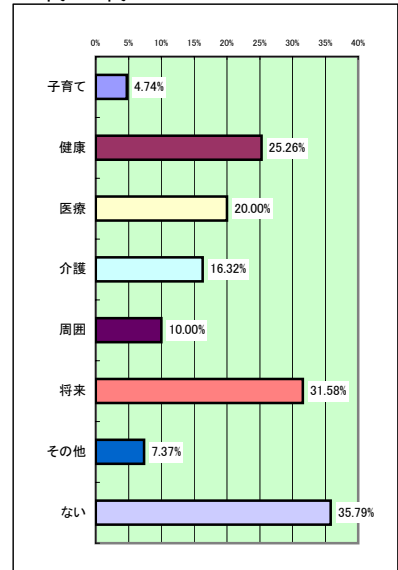
10代・20代



30代・40代・50代

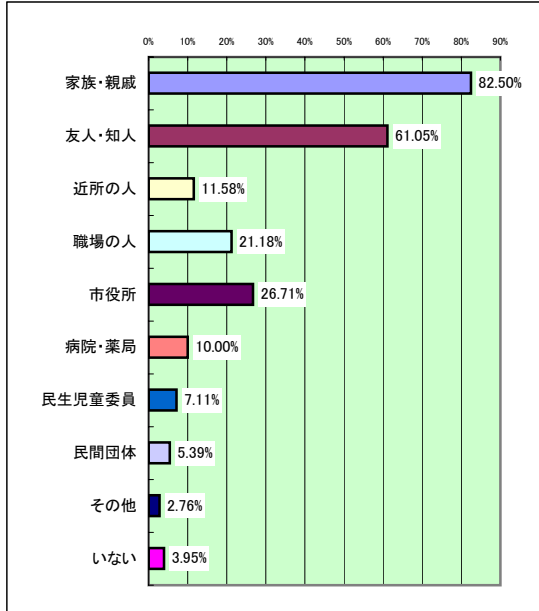


60代・70代

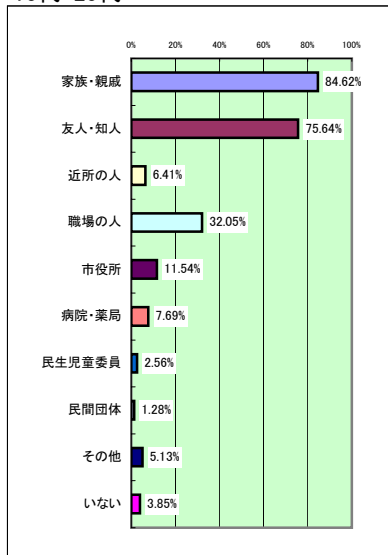


問23	あなたは、ふだん暮らしているなかで困っていること(生活課題)を、誰に相談したいとしますか。 3つまで選んでください。	回答者数	回答率
		760	95.00%
		回答数	対回答者数割合
1	家族・親戚	627	82.50%
2	友人・知人	464	61.05%
3	近所の人	88	11.58%
4	職場の人	161	21.18%
5	市役所の相談窓口	203	26.71%
6	病院・薬局	76	10.00%
7	民生委員・児童委員	54	7.11%
8	社会福祉協議会などの民間団体	41	5.39%
9	その他	21	2.76%
10	相談できる人がいない	30	3.95%
合計		1,765	

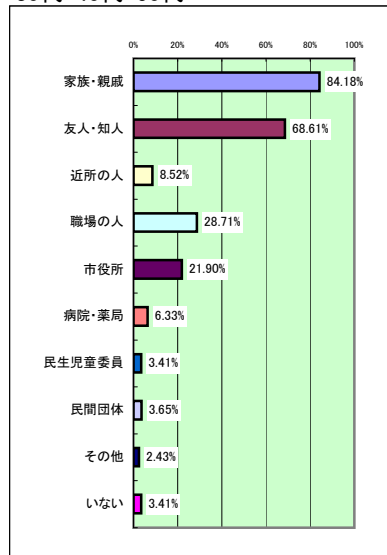
全体



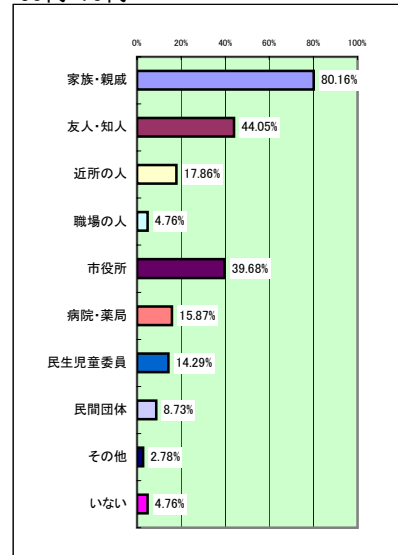
10代・20代



30代・40代・50代

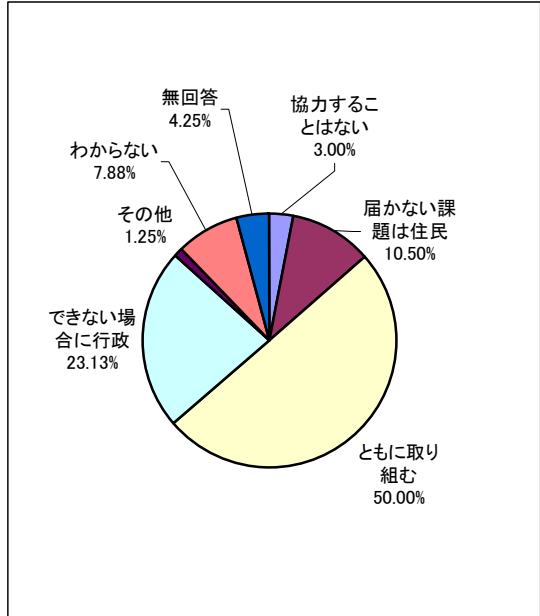


60代・70代

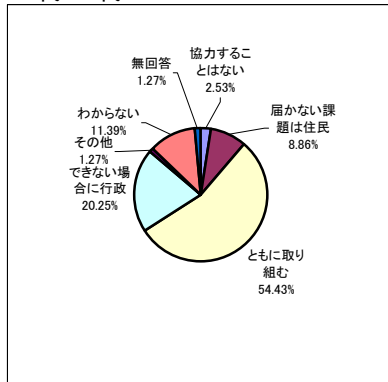


問24	ふだん暮らしているなかで、生活課題を解決するためには、行政と地域住民の関係はどうあるべきだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。	回答者数	回答率
		766	95.75%
		回答数	構成比
1	社会福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない。	24	3.00%
2	行政の手が届かない生活課題については、住民が協力していくべきである。	84	10.50%
3	生活課題については、行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである。	400	50.00%
4	家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである。	185	23.13%
5	その他	10	1.25%
6	わからない	63	7.88%
	無回答	34	4.25%
合 計		800	100.00%

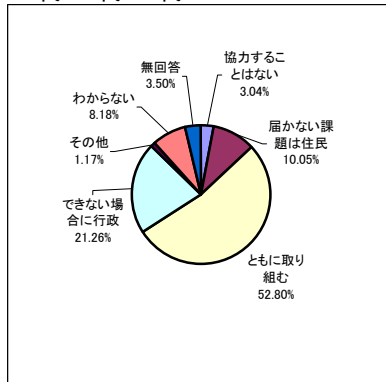
全体



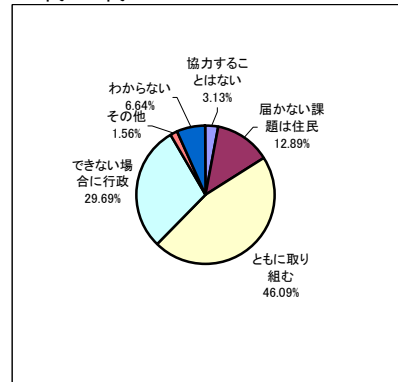
10代・20代



30代・40代・50代

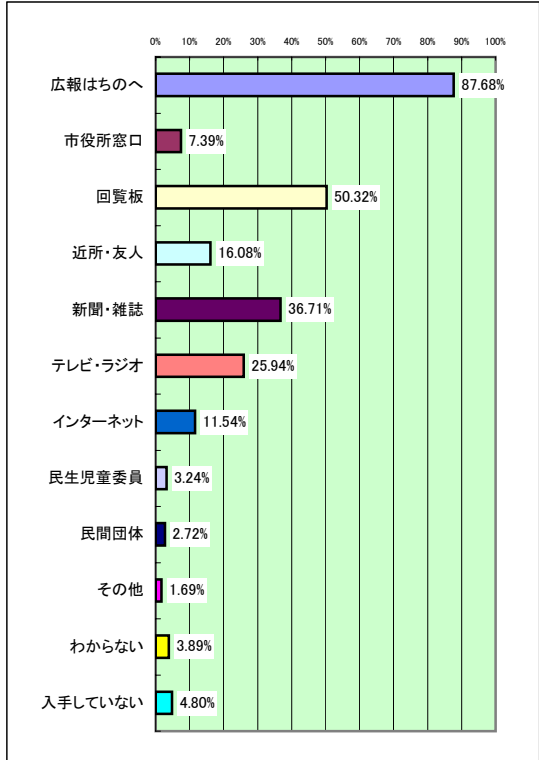


60代・70代

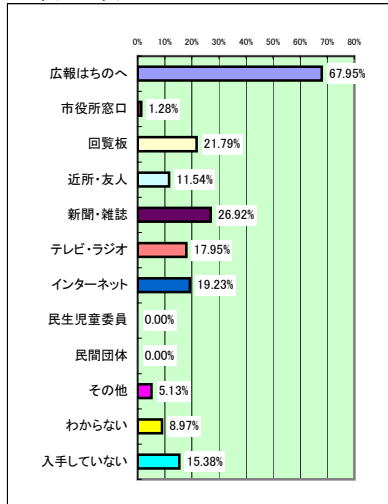


問25	あなたは、市の保健や福祉に関する情報を、どのような方法で入手していますか。あてはまるものすべてを選んでください。	回答者数	回答率
		771	96.38%
		回答数	対回答者数割合
1	広報はちのへ	676	87.68%
2	市役所・支所の窓口	57	7.39%
3	町内会の回覧板	388	50.32%
4	近所の人・友人	124	16.08%
5	新聞・雑誌	283	36.71%
6	テレビ・ラジオ	200	25.94%
7	インターネット	89	11.54%
8	民生委員・児童委員	25	3.24%
9	社会福祉協議会などの民間団体	21	2.72%
10	その他	13	1.69%
11	入手したいが入手先がわからない	30	3.89%
12	入手していない	37	4.80%
合 計		1,943	

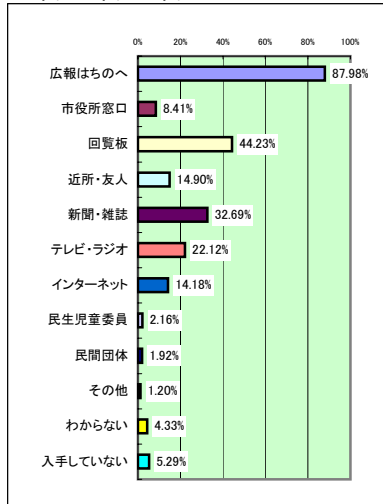
全体



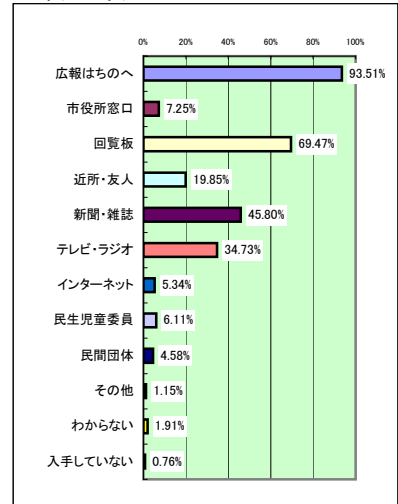
10代・20代



30代・40代・50代

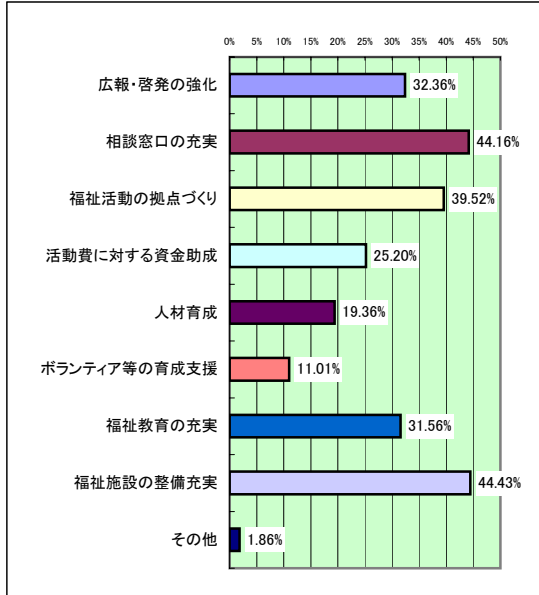


60代・70代

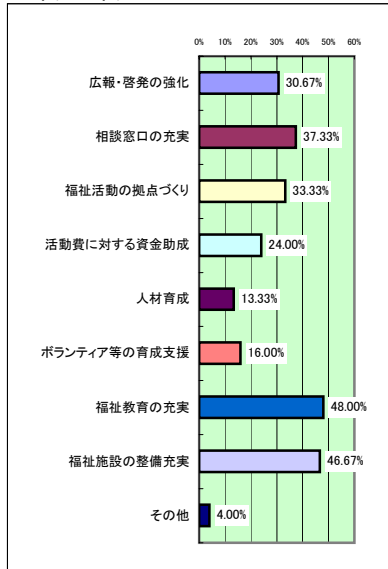


問26	今後、地域福祉を推進していくためには、行政の役割として、どのようなことが重要だと思いますか。 3つまで選んでください。	回答者数	回答率
		754	94.25%
		回答数	対回答者数割合
1	福祉意識を高めるための広報・啓発の強化	244	32.36%
2	身近な場所での相談窓口の充実	333	44.16%
3	市民が気軽に参画し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり	298	39.52%
4	地域における福祉活動の活動費や運営費に対する資金助成	190	25.20%
5	地域福祉活動を推進する地域リーダーなどの人材育成	146	19.36%
6	ボランティア、NPOなどの育成支援	83	11.01%
7	学校教育や社会教育での福祉教育の充実	238	31.56%
8	高齢者・障害者・児童の福祉施設の整備充実	335	44.43%
9	その他	14	1.86%
合 計		1,881	

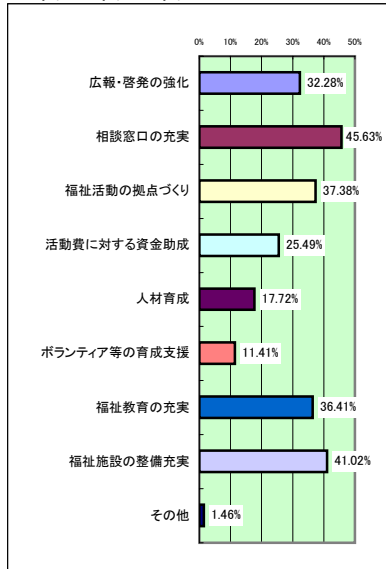
全体



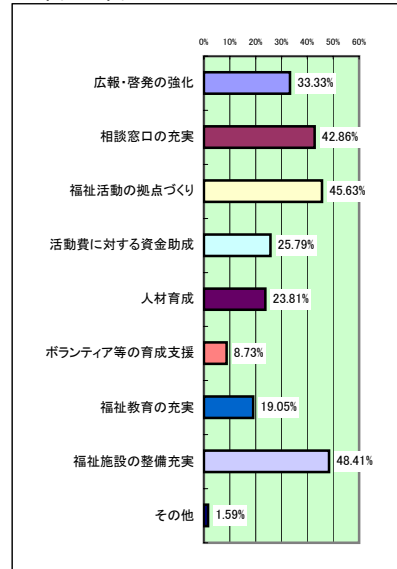
10代・20代



30代・40代・50代

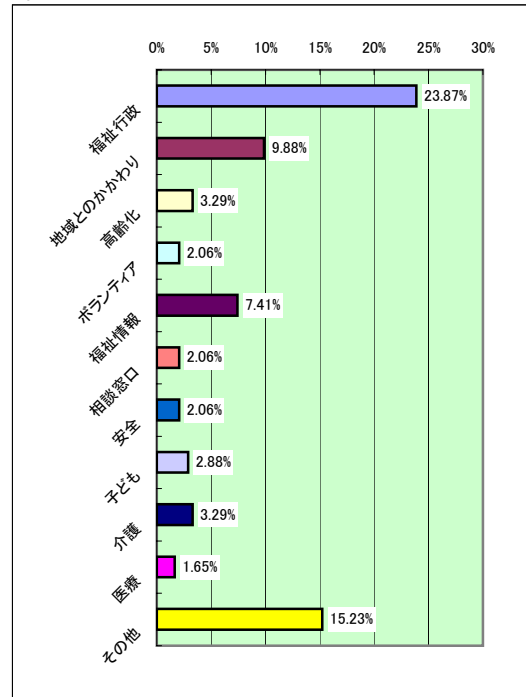


60代・70代



問27	今後、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくため、福祉サービスのありかた、地域福祉の進め方、保健福祉行政への提言など、日頃皆様が考えていることを、自由にご記入ください。	回答者数	回答率
		243	30.38%
自由回答	福祉行政に関すること	58	23.87%
	地域とのかかわりに関すること	24	9.88%
	高齢化に関すること	8	3.29%
	ボランティアに関すること	5	2.06%
	福祉情報に関すること	18	7.41%
	相談窓口に関すること	5	2.06%
	安全に関すること	5	2.06%
	子どもに関すること	7	2.88%
	介護に関すること	8	3.29%
	医療に関すること	4	1.65%
	その他	37	15.23%
合 計		179	73.66%

全体



地域福祉に関するアンケート調査 比較結果

調査対象

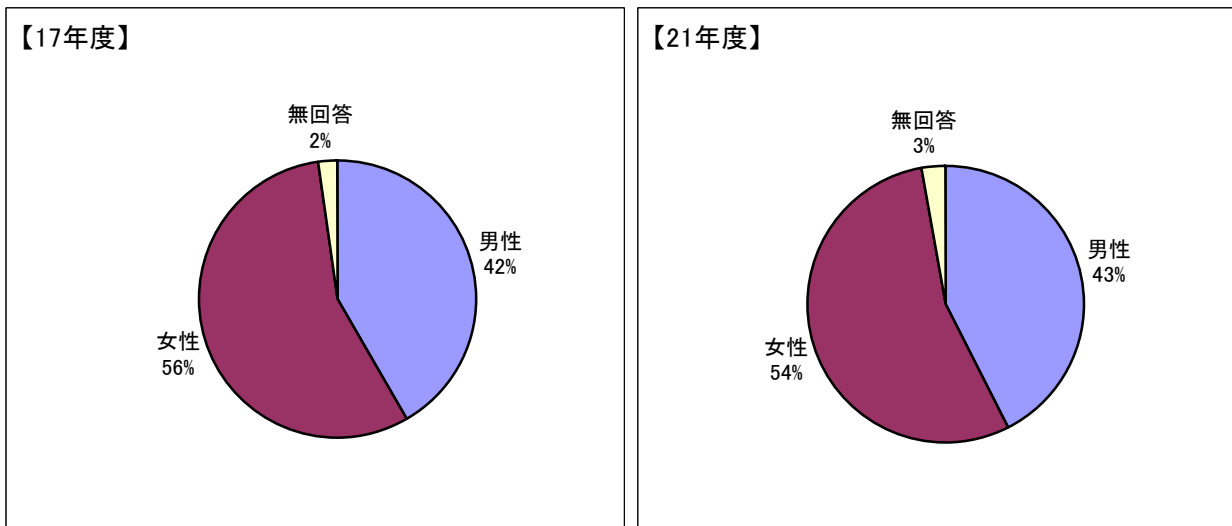
【17年度】

平成21年10月15日現在八戸市に住民票を有している人2,000人
 年齢は10月15日現在18歳～75歳
 男女比率 1:1

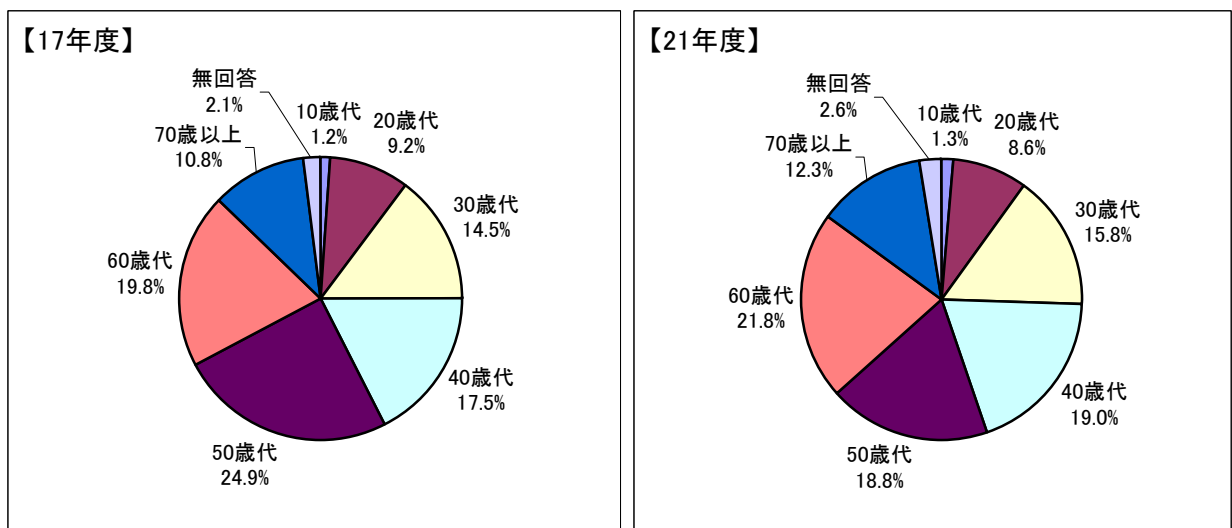
【21年度】

平成21年10月15日現在八戸市に住民票を有している人2,000人
 年齢は10月15日現在18歳～75歳
 男女比率 1:1

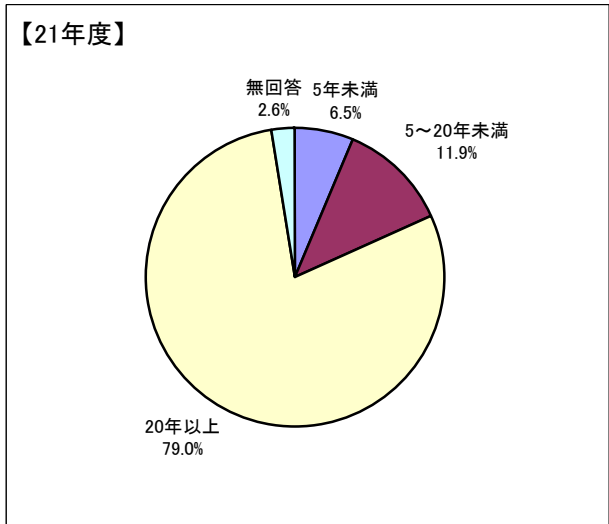
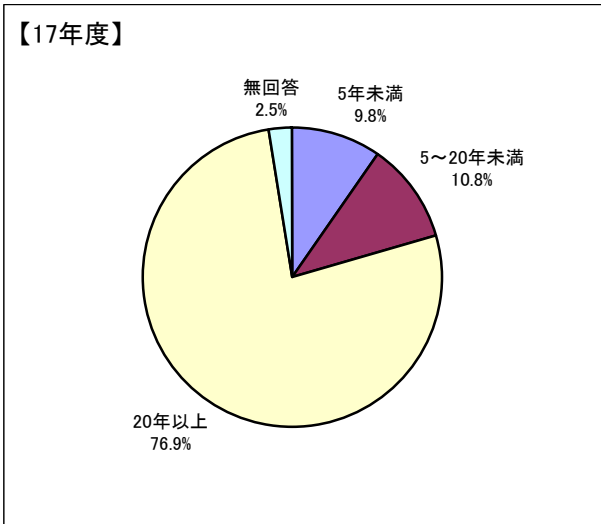
問1 性別



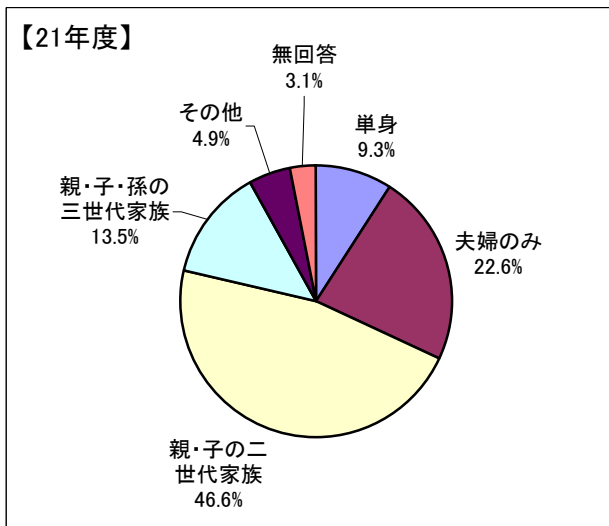
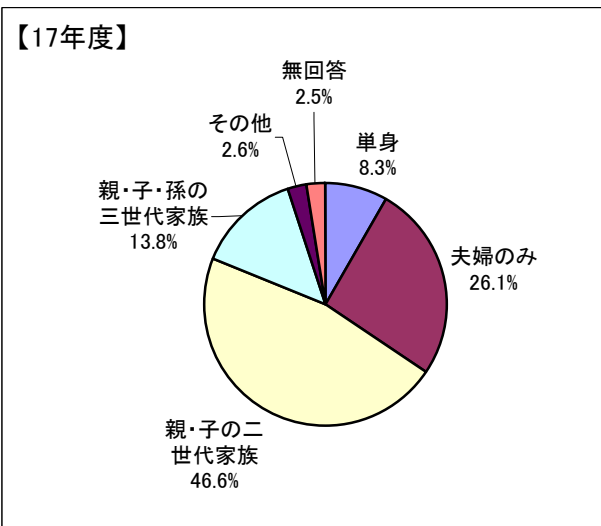
問2 年齢



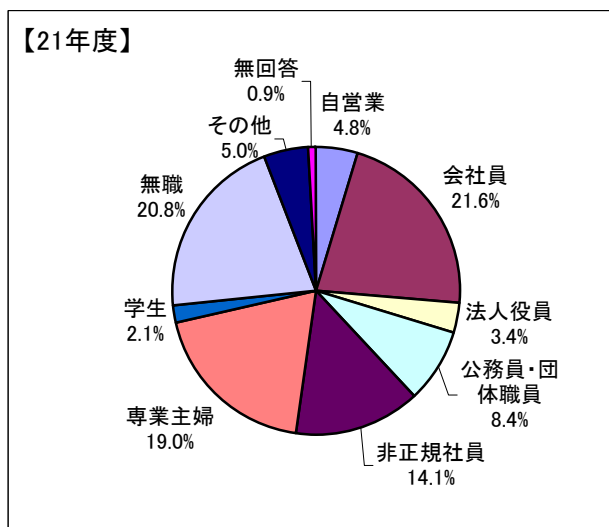
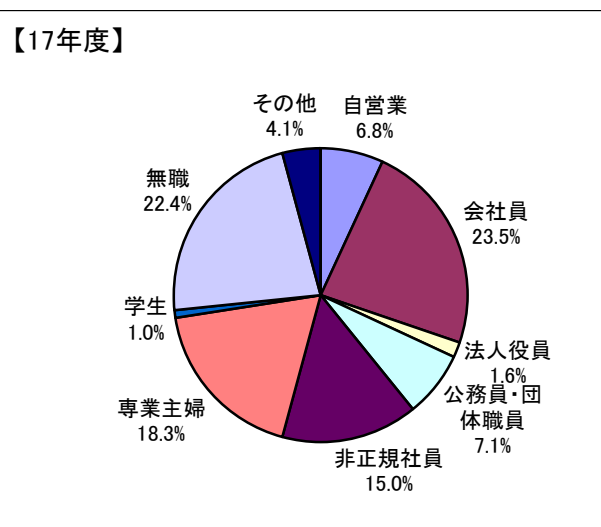
問3 八戸市内における在住年数



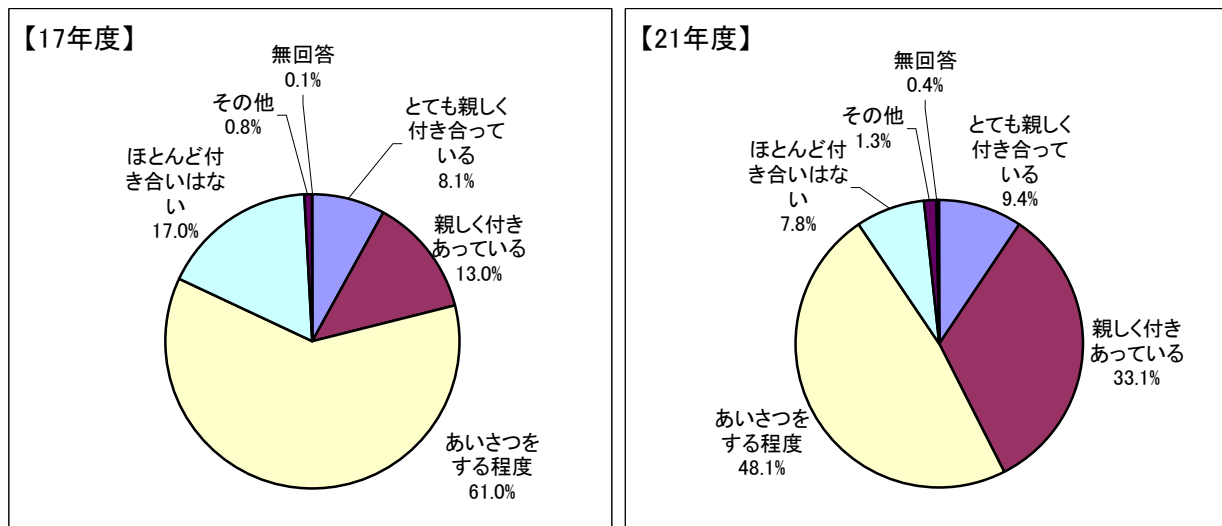
問4 ご家族の構成



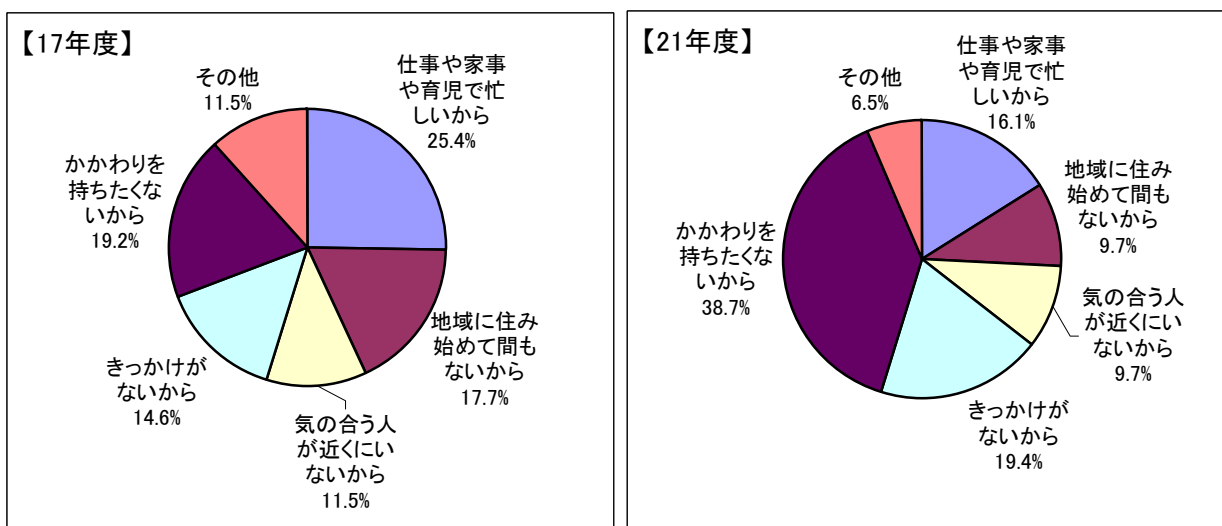
問5 ご職業は何ですか



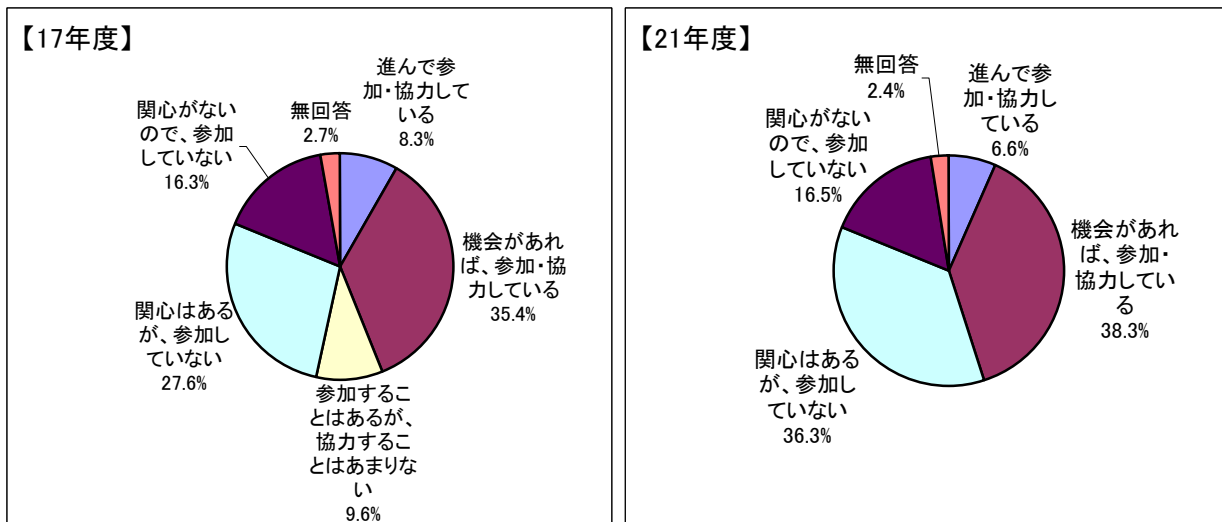
問6 あなたは、ご近所とのお付き合いをどの程度していますか。



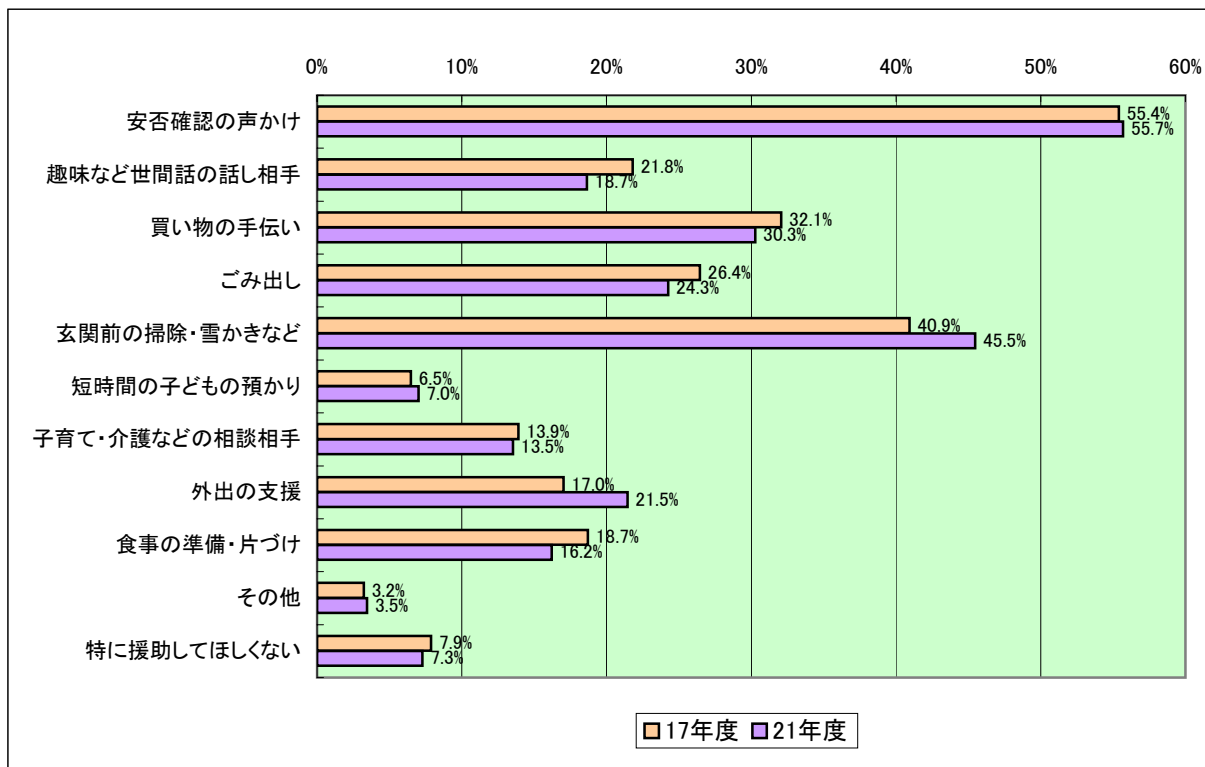
問7 問6で、「4 ほとんど付き合いはない」と回答された方にうかがいます。近所付き合いがない理由は、次のどれですか。



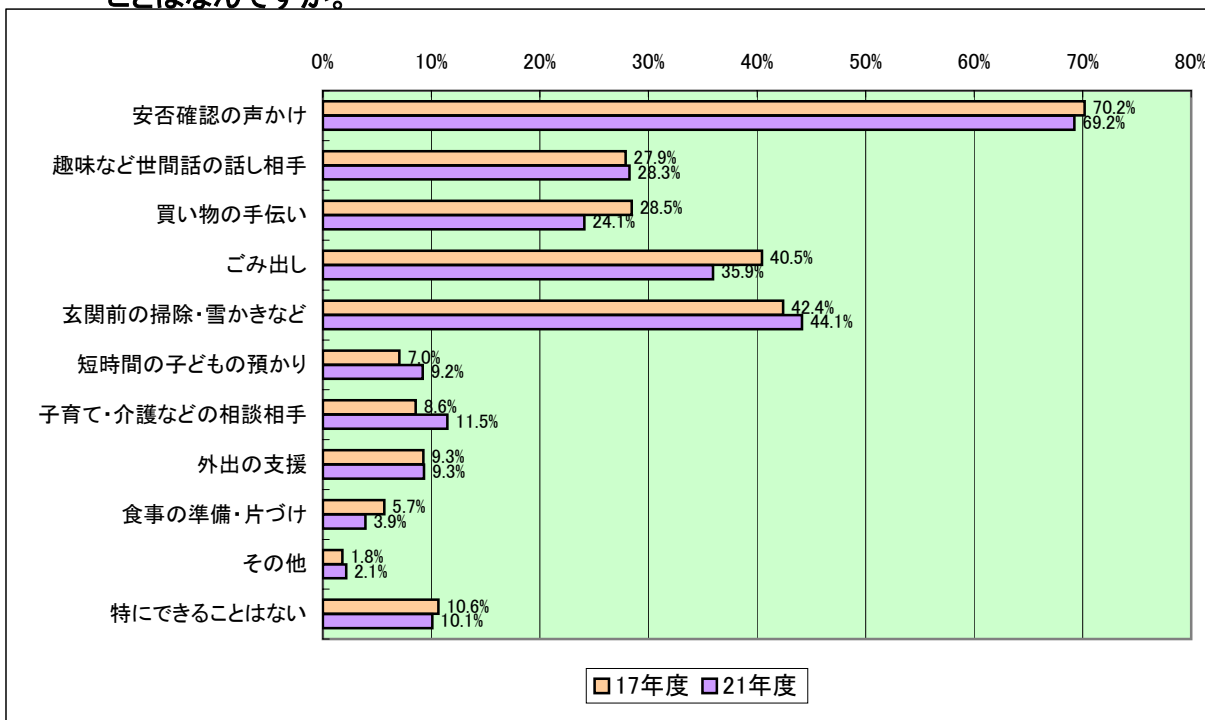
問8 あなたは地域の行事や活動にどのように参加していますか。



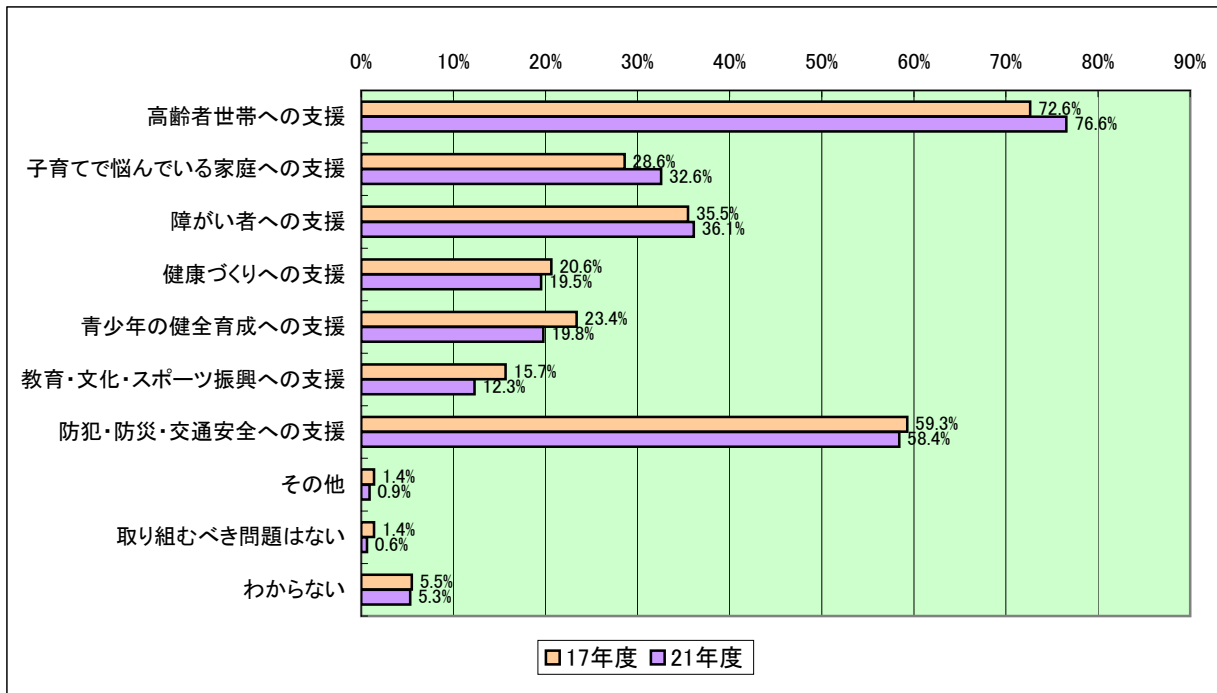
問9 あなたは、日常生活が不自由になったとき(高齢・病気・ケガなど)、地域でどのような援助をしてほしいと思いますか。



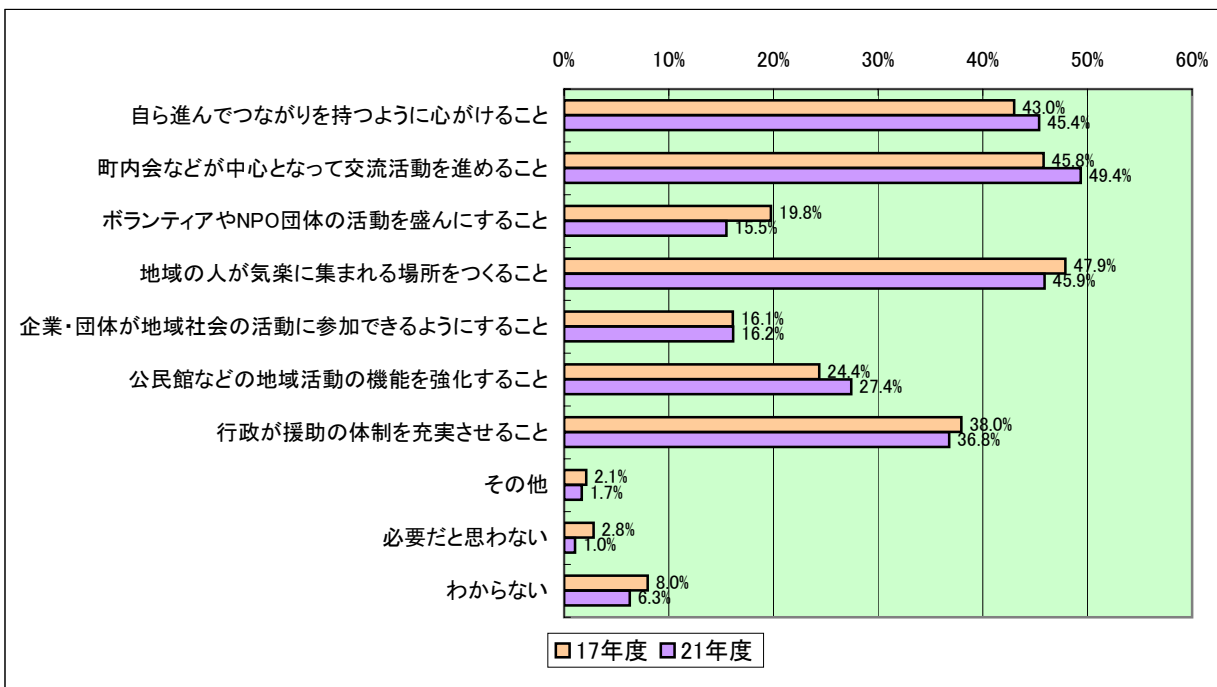
問10 あなたが地域で、高齢者や障害者、子育てなどで困っている世帯があったら、できることはなんですか。



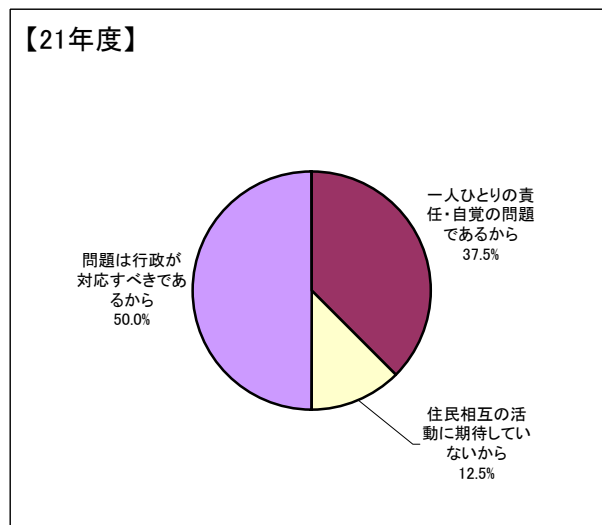
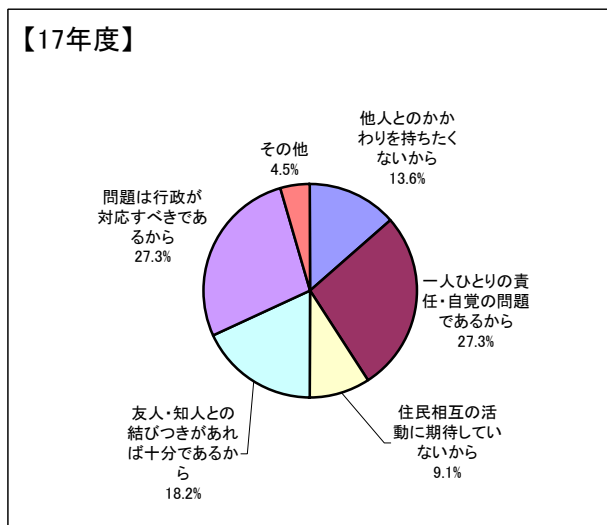
問11 次のうち、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要だと思うことはなんですか。



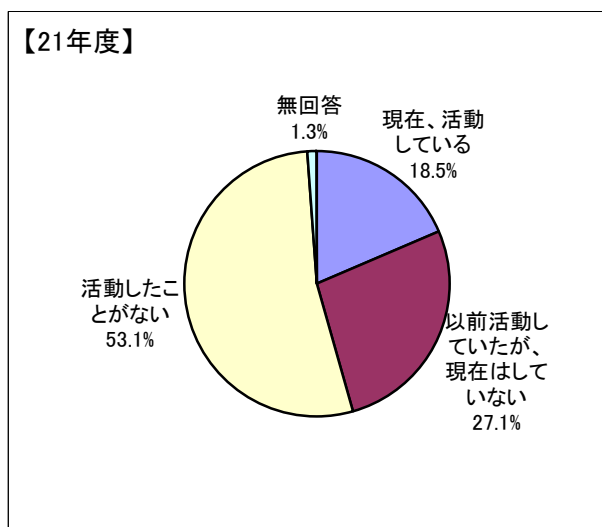
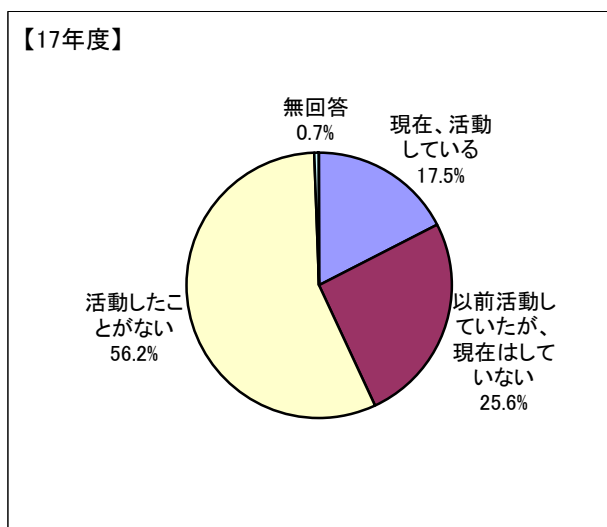
問12 地域社会の問題に対して、住民がお互いに協力していくためには、どんなことが必要だと考えますか。



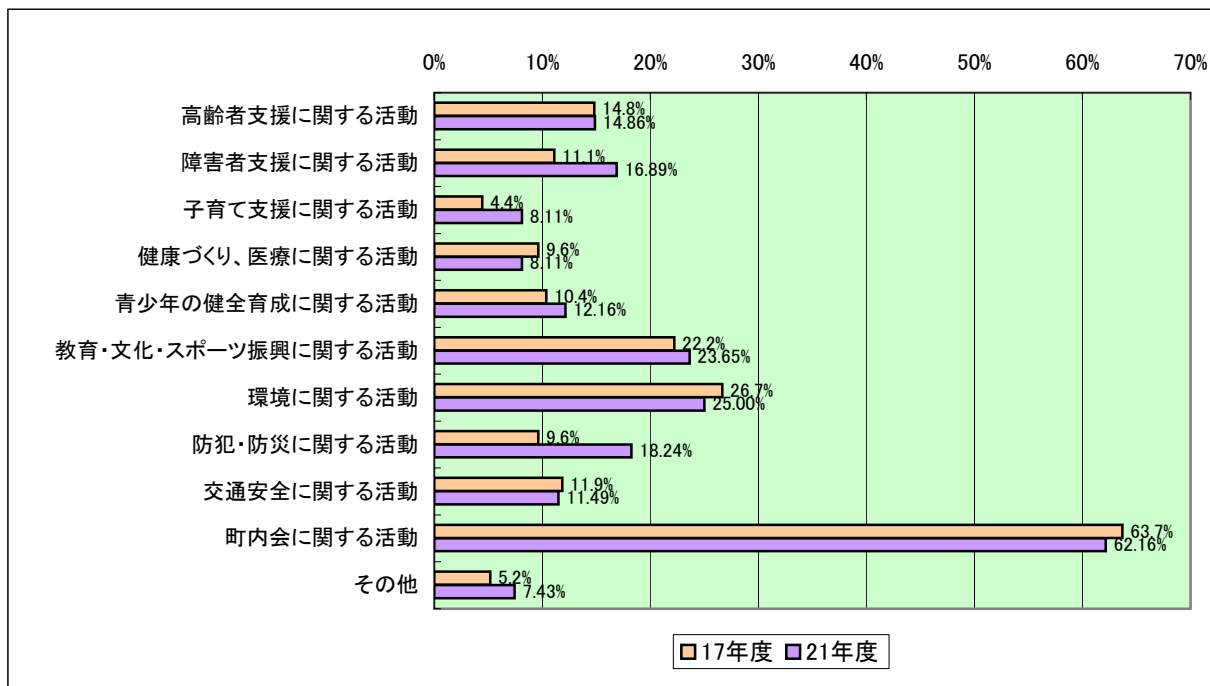
問13 問12で、「10 必要だと思わない」と回答された方にうかがいます。必要ないと思う理由は何ですか。



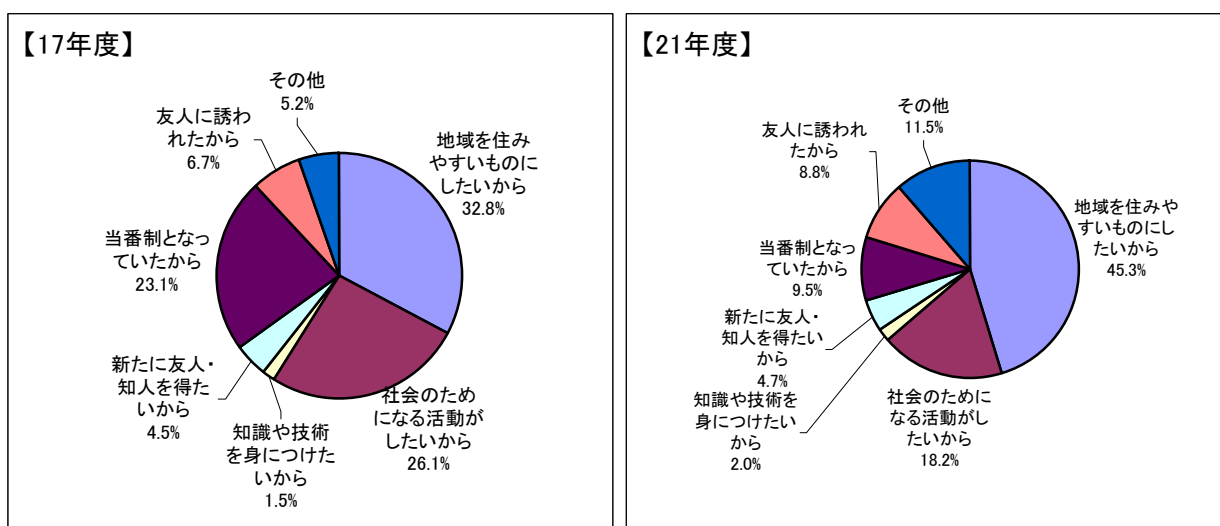
問14 あなたは、これまでに地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。



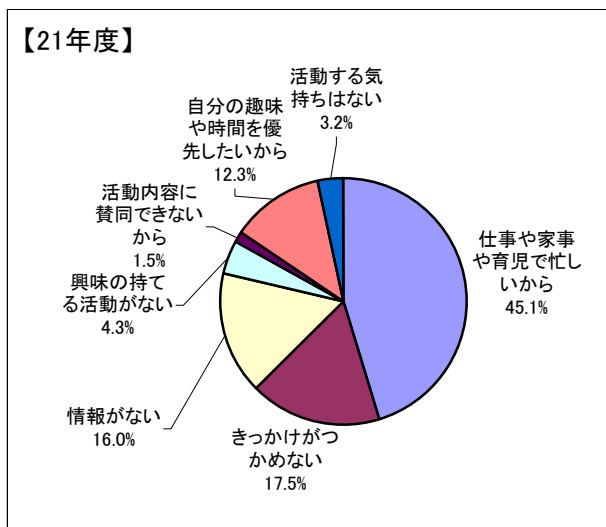
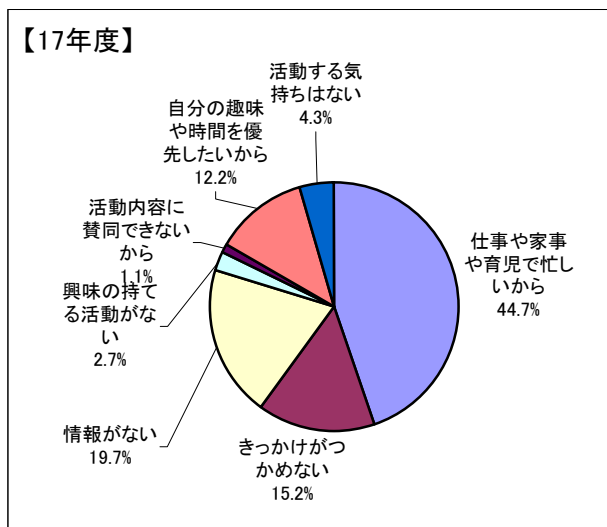
問15 問14で、「1 現在、活動している」と回答された方にうかがいます。どのような活動をしていますか。



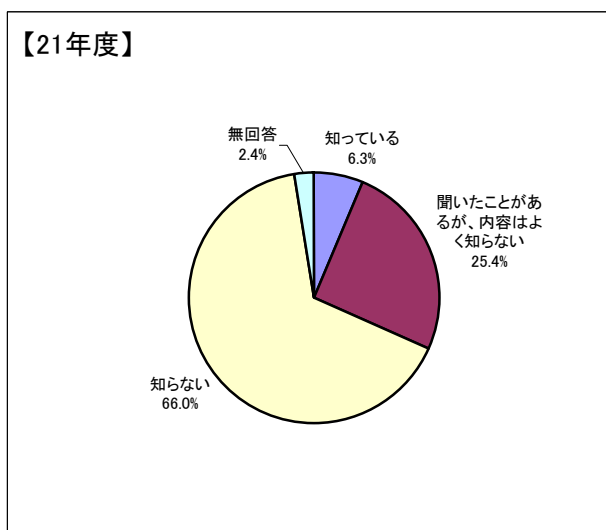
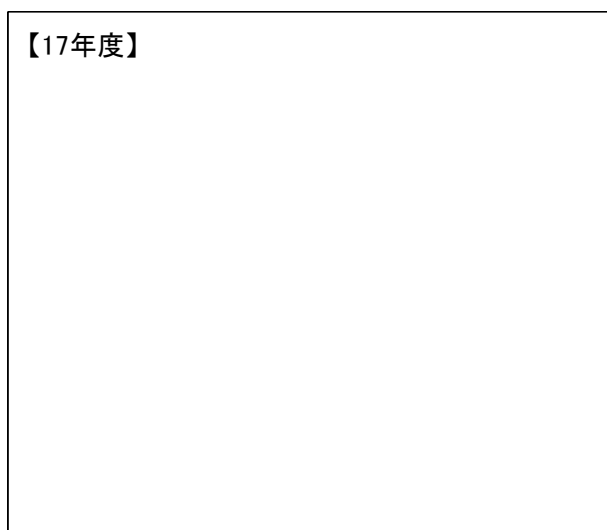
問16 問14で、「1 現在、活動している」と回答された方にうかがいます。活動のきっかけはどのような理由ですか。



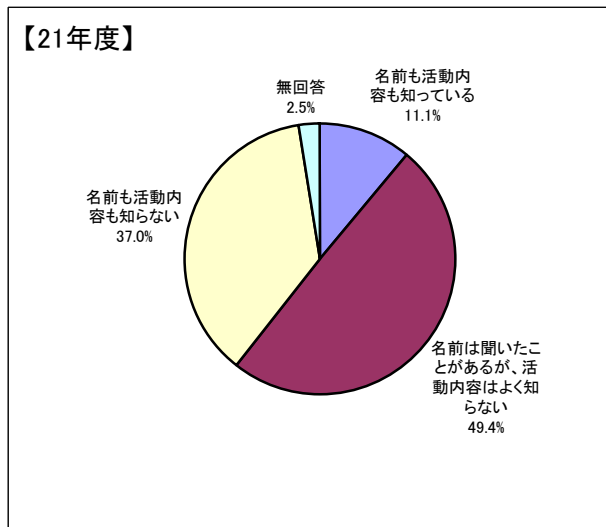
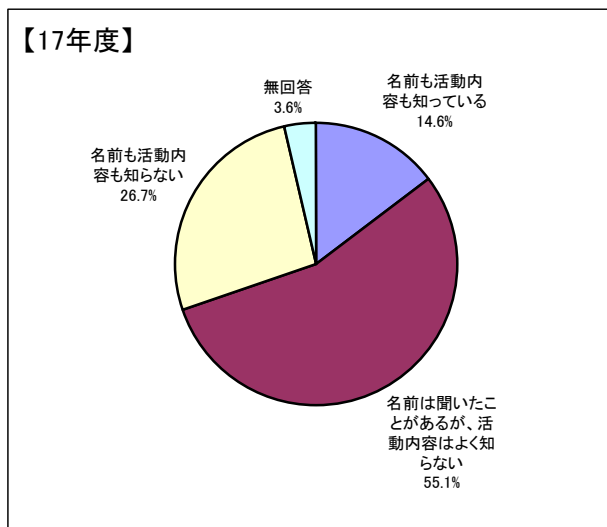
問17 問14で、「2 以前活動していたことがあるが、現在はしていない」または「3 活動したことがない」と回答された方にうかがいます。あなたが地域活動・ボランティアをしない理由は何ですか。



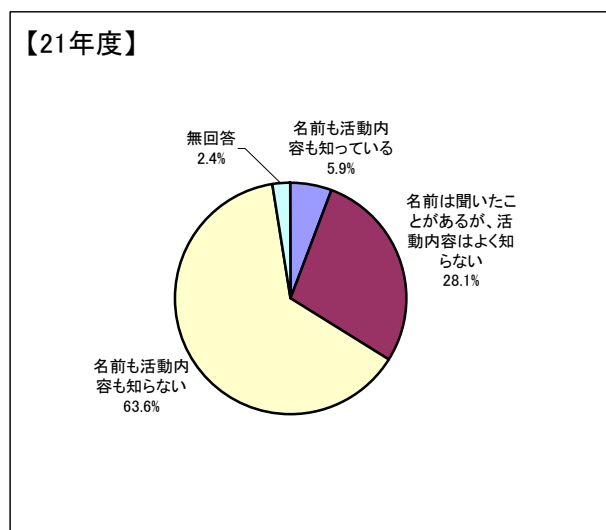
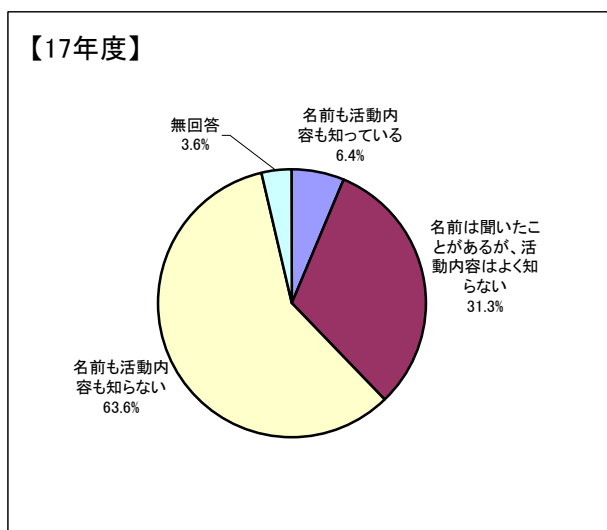
問18 あなたは、「八戸市地域福祉計画」を知っていますか。



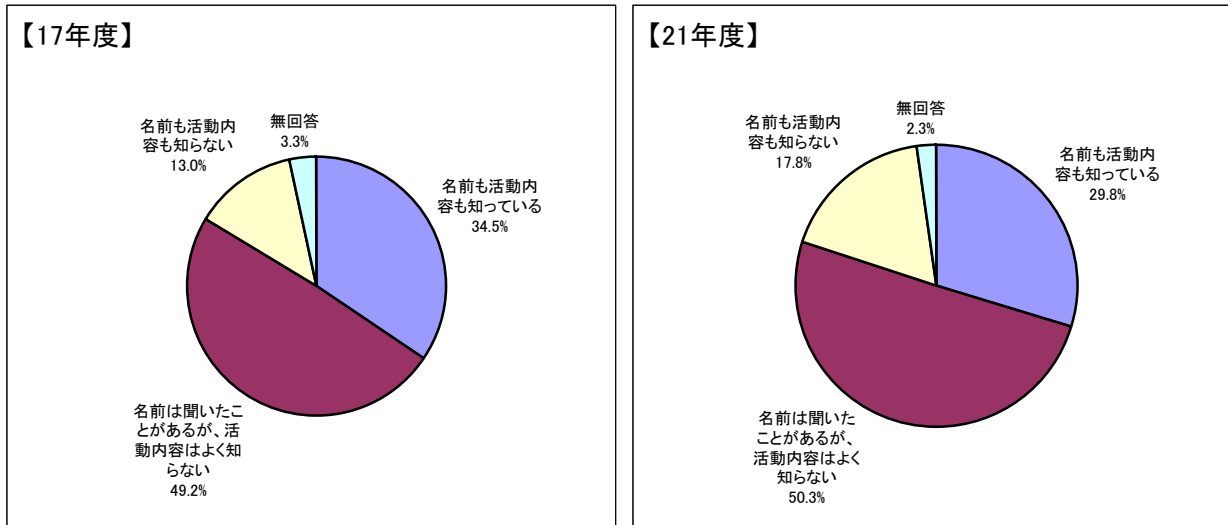
問19 あなたは、地域福祉の推進を目的として活動している「八戸市社会福祉協議会」を知っていますか。



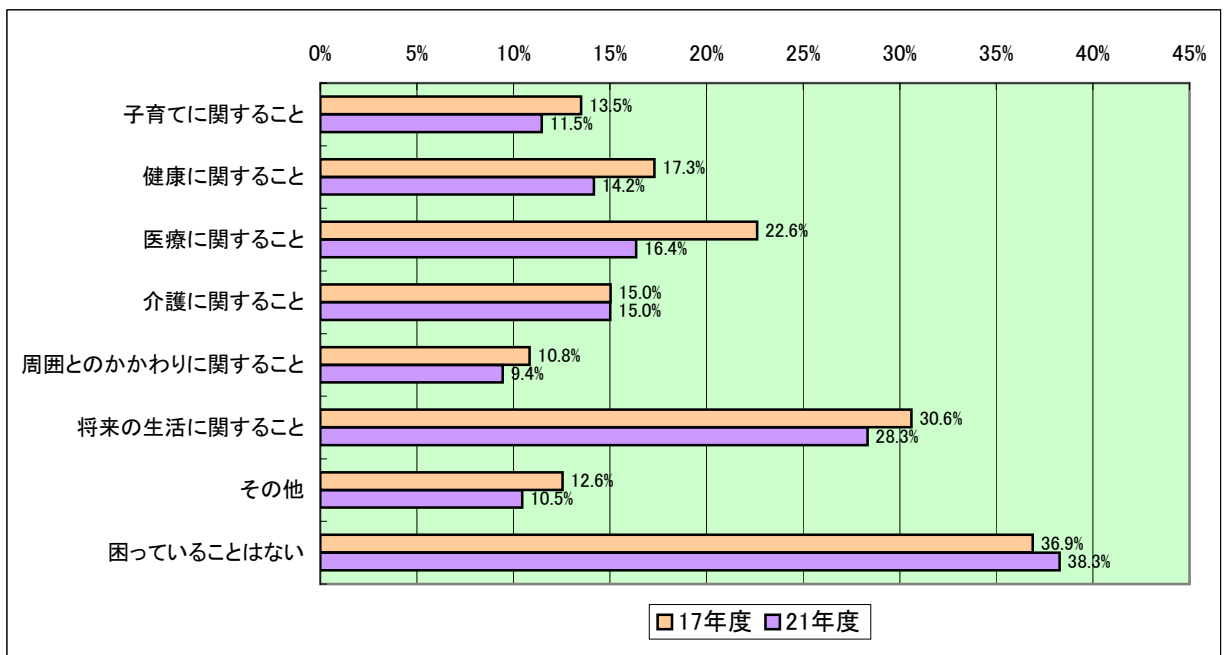
問20 あなたは、市民のボランティア活動の振興を目的として活動している「八戸市市民活動サポートセンター」を知っていますか。



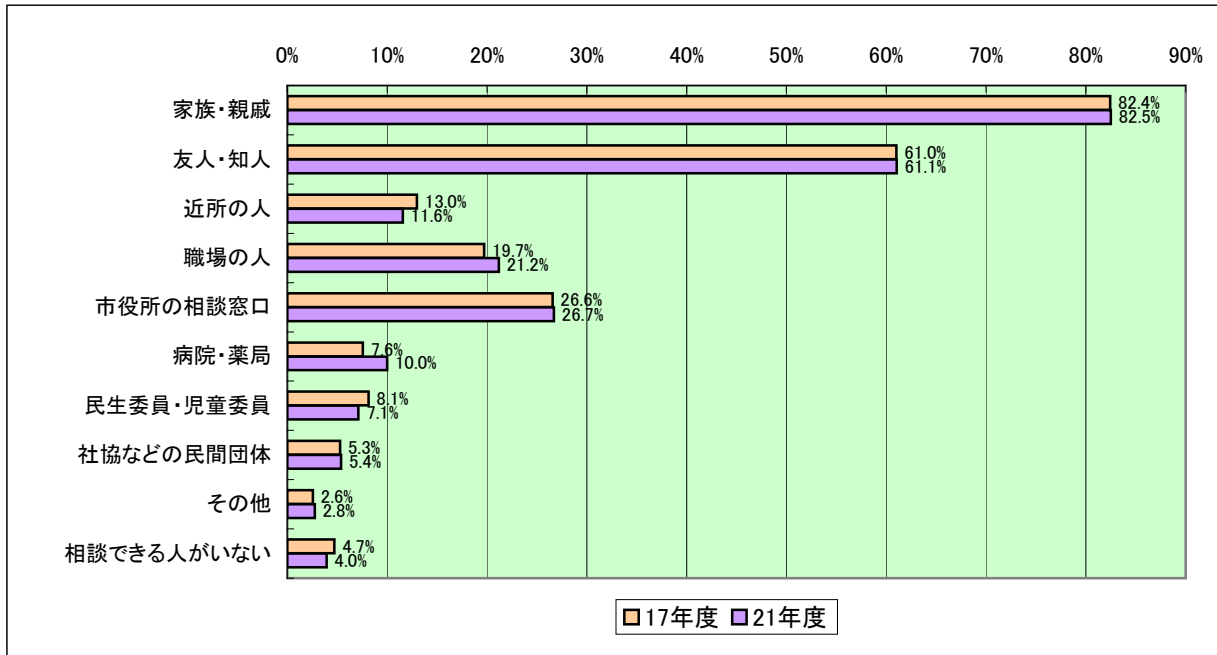
問21 あなたは、社会奉仕の精神をもって住民の立場に立って相談や援助活動をしている「民生委員・児童委員」を知っていますか。



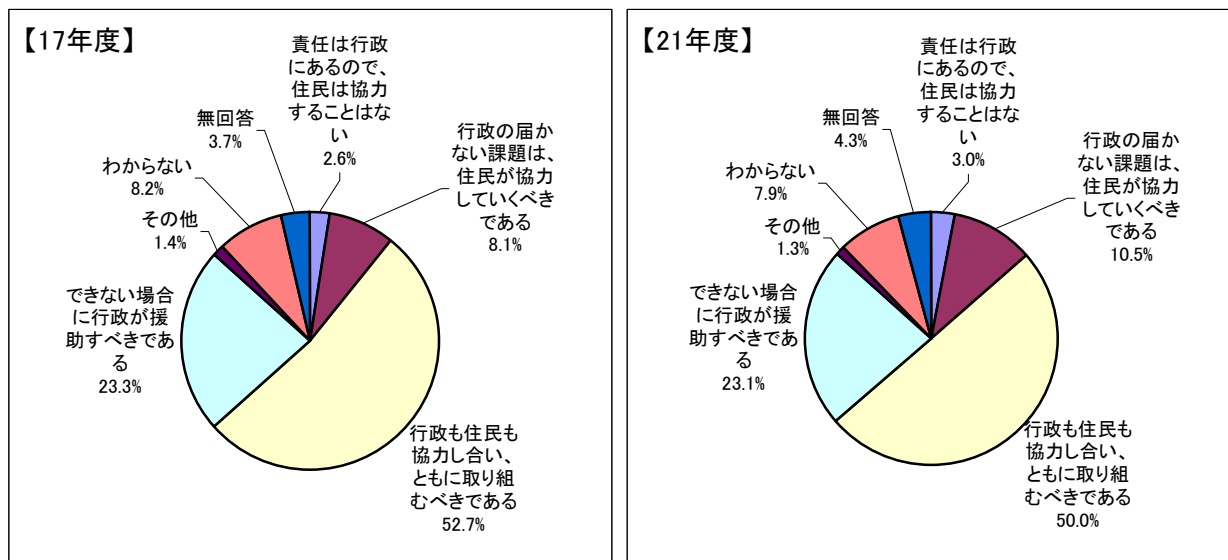
問22 あなたは、ふだん暮らしているなかで、以下に関することで困っていることはありますか。困っていることがありましたら何でもお書きください。



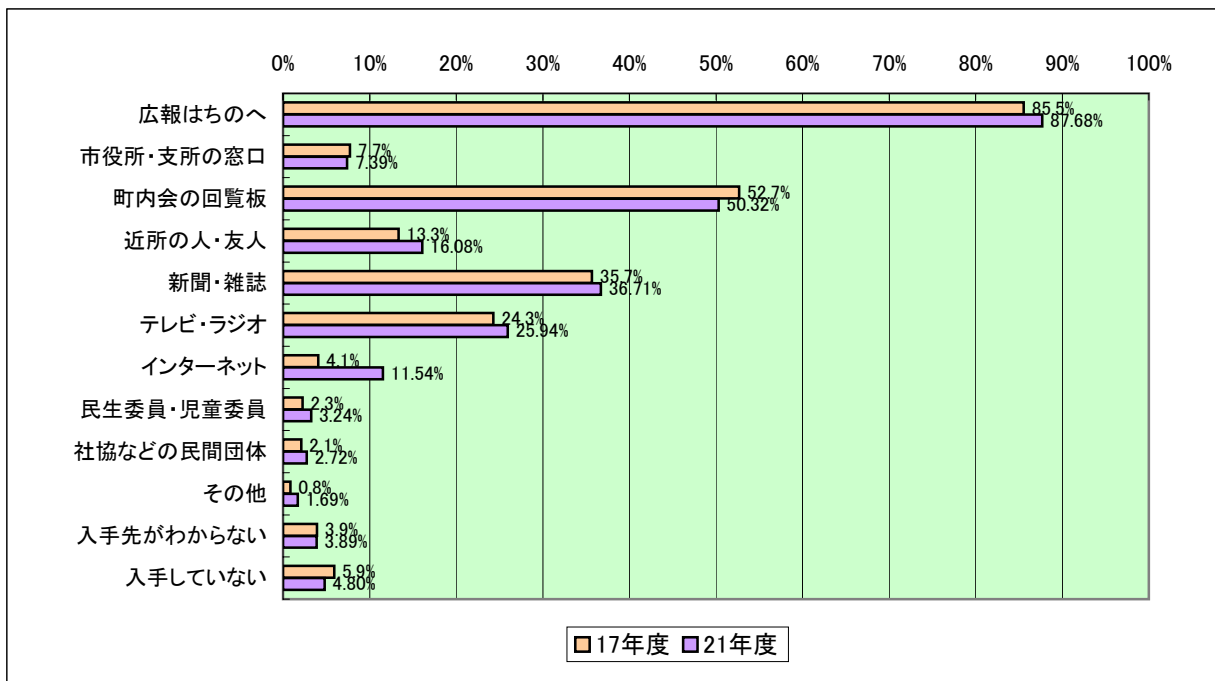
問23 あなたは、ふだん暮らしているなかで困っていること(生活課題)を、誰に相談したいと思いますか。



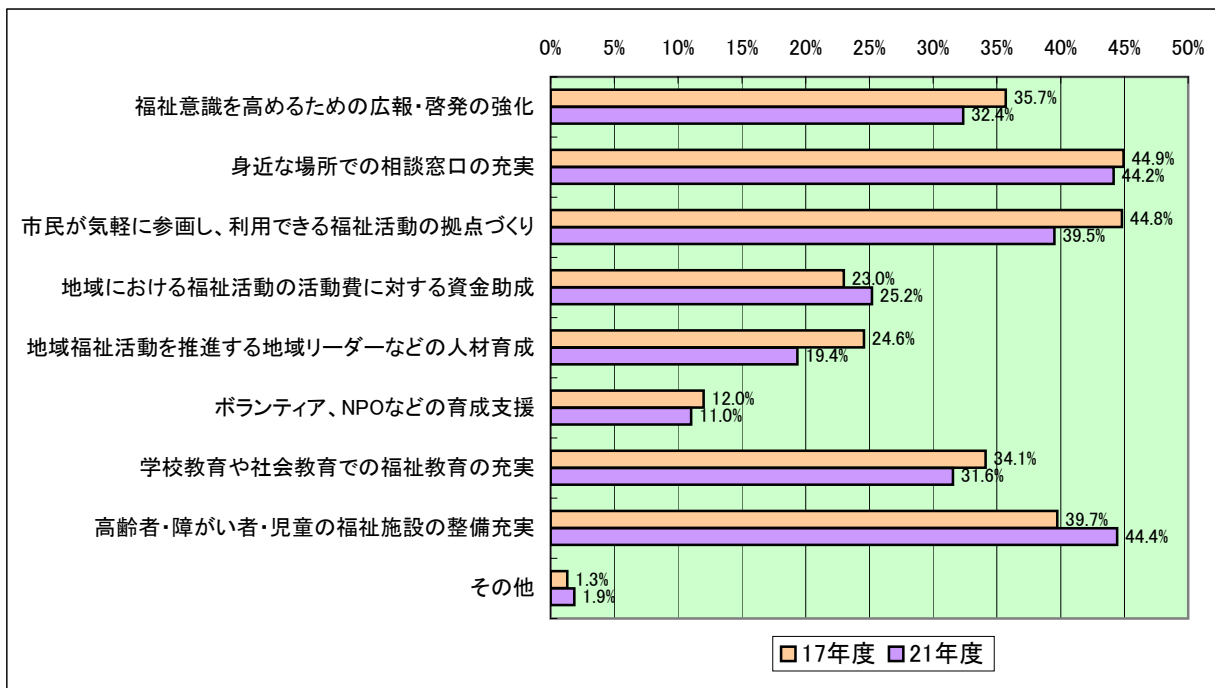
問24 ふだん暮らしているなかで、生活課題を解決するためには、行政と地域住民の関係はどうあるべきだと思いますか。



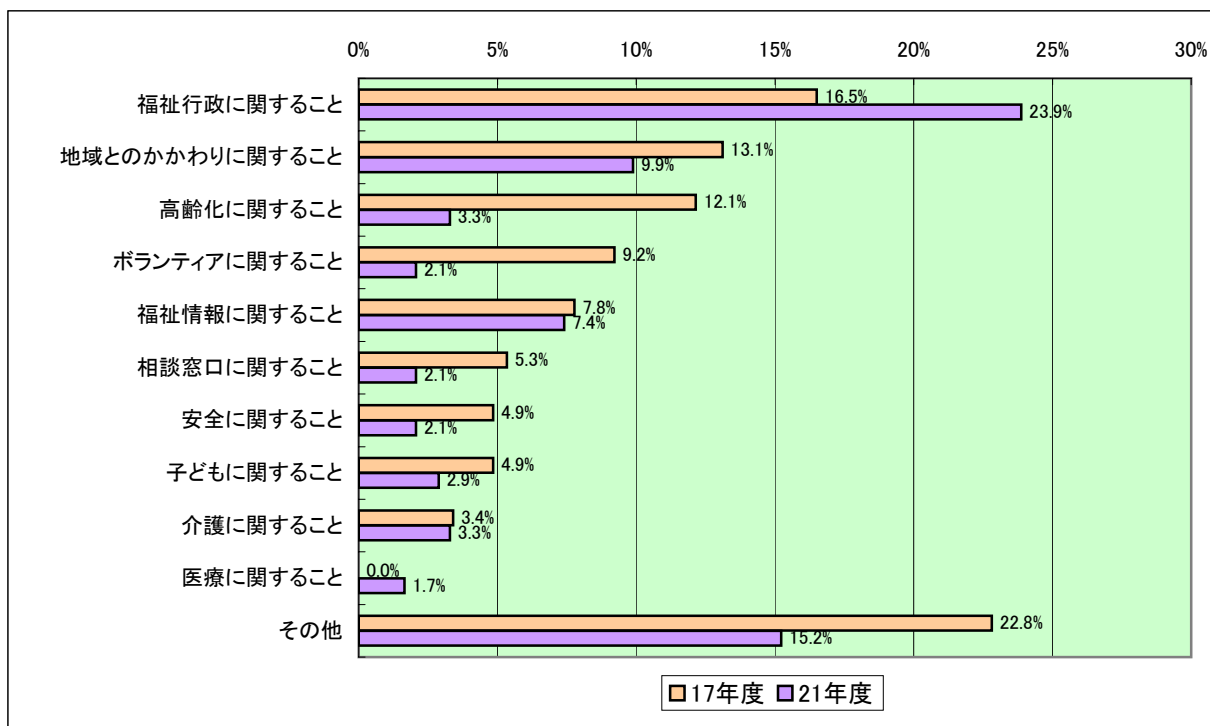
問25 あなたは、市の保健や福祉に関する情報を、どのような方法で入手していますか。



問26 今後、地域福祉を推進していくためには、行政の役割として、どのようなことが必要だと
 だと思いますか。



問27 今後、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくため、福祉サービスのありかた、地域福祉の進め方、保健福祉行政への提言など、日頃皆様が考えていることを、自由にご記入ください。



第 2 期八戸市地域福祉計画策定の経過

年 月 日	内 容
平成 21 年 10～11 月	市民へアンケート実施（市民 2,000 名へ送付）
平成 22 年 6 月 23 日	八戸市健康福祉審議会 社会福祉部会組織会
平成 22 年 9 月 6 日	八戸市健康福祉審議会 第 1 回社会福祉部会開催
平成 22 年 10 月 21 日	八戸市健康福祉審議会 第 2 回社会福祉部会開催
平成 22 年 12 月 16 日	八戸市健康福祉審議会 第 3 回社会福祉部会開催
平成 23 年 1 月 11 日	八戸市健康福祉審議会 第 4 回社会福祉部会開催
平成 23 年 3 月 15 日	第 2 回八戸市健康福祉審議会 東日本大震災のため中止、資料送付により報告

八戸市健康福祉審議会 社会福祉部会 委員名簿

任期：平成 22 年 5 月 23 日～平成 25 年 5 月 22 日

区 分	団 体 ・ 役 職	氏 名
学 識 経 験 者	八戸市議会 民生常任委員会 委員	坂 本 美 洋
	八戸短期大学幼児保育学科 教授	関 川 幸 子
	八戸市小学校長会（明治小学校 校長）	中 村 和 貴 子
	東奥日報社 八戸支社 編集部長	中 村 一 彦
福 祉 関 係 者	八戸市社会福祉協議会 事務局次長	浮 木 隆
	八戸市保育連合会 副会長	川 口 司
	八戸市身体障害者団体連合会 会長	東 山 国 男
地 域 支 援 関 係 者	八戸市民生委員児童委員協議会 会長	古 舘 義 美
	八戸市老人クラブ連合会 理事	高 山 武 治
	公募	熊 谷 満 美 子

合計 10 名

八戸市健康福祉審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、八戸市健康と福祉のまちづくり条例（平成19年八戸市条例第11号）第32条第6項の規定に基づき、八戸市健康福祉審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(委員の任期)

第2条 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に、会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。ただし、この規則の施行後最初に招集すべき審議会又は新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき審議会の会長の職務は、市長が行う。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決すところによる。

(部会)

第5条 審議会に、健康福祉施策に関する専門の事項を調査審議するため、部会を置く。

2 部会の名称は、次のとおりとする。

(1) 健康・保健部会

(2) 介護・高齢福祉部会

(3) 児童福祉部会

(4) 障害福祉部会

(5) 社会福祉部会

3 審議会は、前項に掲げるもののほか、必要に応じて部会を置くことができる。

4 部会は、審議会の会長が指名した委員（次条第1項の規定により専門委員が置かれた場合にあつては、当該専門委員を含む。以下この条及び第7条において同じ。）をもって組織する。

- 5 部会に、部会長及び副部会長各1人を置く。
- 6 部会長及び副部会長は、当該部会に属する委員の互選によって定める。
- 7 部会長は、部会の会務を掌理する。
- 8 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 9 部会の決議は、これをもって審議会の決議とすることができる。ただし、部会長は、この決議事項を次の審議会の会議において報告しなければならない。
- 10 前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「審議会」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と、「委嘱」とあるのは「指名」と、「市長」とあるのは「審議会の会長」と読み替えるものとする。

(専門委員)

第6条 審議会は、専門の事項を調査審議させるため必要があるときは、専門委員を置くことができる。

- 2 専門委員は、学識経験者その他市長が必要と認める者のうちから、市長が委嘱する。
- 3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査及び審議が終了したときは、解任されるものとする。

(分科会)

第7条 部会に、特定の事項を調査審議するため、必要に応じて分科会を置くことができる。

- 2 介護・高齢福祉部会に置く分科会の名称は、次のとおりとする。

- (1) 地域密着型サービス運営委員会
- (2) 地域包括支援センター運営協議会

- 3 分科会は、当該部会に属する委員のうちから、部会の部会長が指名した者をもって組織する。
- 4 分科会に分科会長及び副分科会長各1人を置く。
- 5 分科会長及び副分科会長は、当該分科会に属する委員の互選によって定める。
- 6 分科会長は、分科会の会務を掌理する。
- 7 副分科会長は、分科会長を補佐し、分科会長に事故があるとき、又は分科会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 8 分科会の決議はこれをもって部会の決議とすることができる。ただし、分科会長は、この決議事項を次の部会の会議において報告しなければならない。
- 9 第4条の規定は、分科会の会議について準用する。この場合において、同条中「審議会」とあるのは「分科会」と、「会長」とあるのは「分科会長」と、「委嘱」とあるのは「指名」と、「市長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(資料の提出の要求等)

第8条 審議会、部会又は分科会は、必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第9条 審議会の庶務は、福祉政策課において処理する。

(委任)

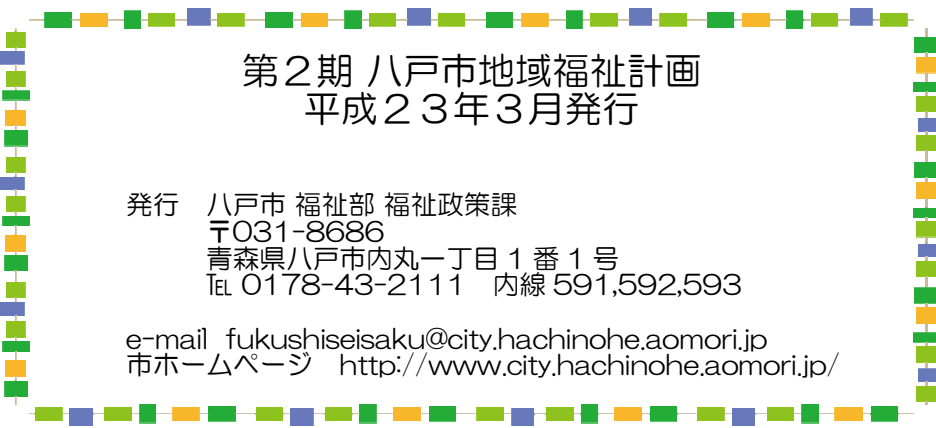
第10条 この規則に定めるもののほか、審議会、部会及び分科会の運営について必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年3月31日規則第29号)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。



第2期 八戸市地域福祉計画
平成23年3月発行

発行 八戸市 福祉部 福祉政策課
〒031-8686
青森県八戸市内丸一丁目1番1号
TEL 0178-43-2111 内線 591,592,593

e-mail fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp
市ホームページ <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>